○愛知大学学則

1949年４月１日
制定
全面改正　1984年４月１日
最終改正　2020年４月１日

第１章　総則

（目的）

第１条　本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。

（自己点検及び評価）

第１条の２　本大学は、その教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するために、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

（学部及び学科）

第２条　本大学に、次の学部及び学科を置く。

文学部
　人文社会学科
　心理学科
経済学部
　経済学科
国際コミュニケーション学部
　英語学科
　国際教養学科
法学部
　法学科
経営学部
　経営学科
　会計ファイナンス学科
現代中国学部
　現代中国学科

地域政策学部

地域政策学科

第２条の２　前条の各学科における教育研究上の目的は、次の各号に掲げるとおりとする。

（１）　文学部

イ　人文社会学科

人文社会系の学問について、文学・哲学・歴史・社会・芸術などの分野の幅広い基礎知識を習得するとともに、各専攻の専門的な学習と卒業論文作成や卒業制作を通じて、テクストを読解し分析する力、ものごとを自ら考え新たなものを創造し表現する力を培い、批判力や他者と対話する力を育てる。これらを通じて、文化や社会に対する造詣をもち、学校教育、社会教育の場で指導的立場に立ちうる、また自治体、企業等の社会的活動の企画・立案・実施に従事できる人材を養成する。

ロ　心理学科

心と行動の科学を定義とする心理学の基礎的な方法を学び、人間や社会における問題点を自ら発見し、実験や調査、そして臨床研究によってその解決に導くことができる能力を習得させる。これらを通じて、客観的な視点から人間や社会を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材を養成する。

（２）　経済学部経済学科

経済学に関する専門的学芸を教授することに加え、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性を養うことを目標とする。広い視野から物事を見る能力、判断力を養成し、豊かな人間性、高い倫理観の醸成を図る。そして、既存概念やシステムにとらわれず、課題に対し果敢に取り組み、新しい価値の創造に努める意欲の涵養、養成を目指す。更に、近年の社会動向を配慮し、国際化・情報化時代の中で対応できる人材、地域に貢献できる人材を養成する。

（３）　国際コミュニケーション学部

イ　英語学科

高度な英語運用能力と言語文化に対する深い理解を基礎に、異文化に関心をもち、言語学、ビジネス、英語教育といった分野に関する体系的な学びを通じて、国際社会において世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力をもつ人材の養成を目指す。

ロ　国際教養学科

異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材を養成する。そのために英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象に、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を目指す。また国際・国内フィールドワークを実施して具体的な交流に努める。

（４）　法学部法学科

社会的正義の感覚、人権感覚、健全な権利義務意識の涵養を通じて、相対立する利害や価値を衡量調整する能力、法的基準や政治的概念についての基礎理解とそれを論理的かつ事柄に即して展開し具体的な現実に応用できる能力、社会的事象から法的・政治的問題を発見・分析しそれに対処する能力、並びに国際的視野で日本の法及び政治の特質とその問題を把握し将来への展望を開く能力を備えた人材を養成する。

（５）　経営学部

イ　経営学科

経営、流通・マーケティング、情報、国際経営などの諸分野の基本的な知識と専門的な知識を体系的に習得し、経営学についての基礎的・専門的知識をもった有為な社会的人材を養成する。加えて、経営学を中心としつつ、社会科学・人文科学・自然科学の諸科目を幅広く配置して、広い視野と豊かな教養・良識を備えた人材を養成する。更に、グローバル化と情報化に対応するビジネス語学科目、実践的な科目を配置して、語学や情報処理の実務的なスキル・知識を養成する。

ロ　会計ファイナンス学科

経営学の基本的な知識・理論に基づいた高度な会計学やファイナンスの理論、及びビジネスをデザインする能力を習得した、有為な社会的人材を養成する。このための諸科目を専門科目として体系的に配置する。同時に、教養科目群として社会科学・人文科学・自然科学・語学・体育・情報処理などの科目も幅広く配置し、グローバル化、複雑化した社会に対応できる広い視野と豊かな教養とスキルも養成する。

（６）　現代中国学部現代中国学科

現代中国について総合的に教育・研究する学部として、国際的な視野と識見を備えたグローバル人材を養成する。この目的を実現するために、ビジネス・言語文化・国際関係の３コースを設け、中国語教育を基礎に、専門的かつ広範な学修を積ませ、ま

た現地プログラム、現地研究調査、現地インターンシップ等を通じた実践的・能動的教育を行う。

（７）　地域政策学部地域政策学科

「地域を見つめ、地域を活かす」を学部理念とし、政策学に関する知識を基礎に、地域とその諸問題を深く理解し、まちづくりと持続可能な社会づくりに貢献する人材を養成する。幅広い職業人に必要な教養と地域政策に関する専門知識を学習させ、アクティブ・ラーニングを重視し、地域を分析する技能を修得させる。これらを基礎に、安定的で個性的なまちづくり・社会づくりへ修得した知識と技能をバランスよく対応させるとともに、多様な能力を持つ人々や組織と協力して問題解決に取り組む「地域貢献力」を育成する。

（学生定員）

第３条　本大学の学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	収容定員
文学部	人文社会学科	290	1,160
	心理学科	55	220
	計	345	1,380
経済学部	経済学科	330	1,320
国際コミュニケーション学部	英語学科	115	460
	国際教養学科	115	460
	計	230	920
法学部	法学科	315	1,260
経営学部	経営学科	250	1,000
	会計ファイナンス学科	125	500
	計	375	1,500
現代中国学部	現代中国学科	180	720
地域政策学部	地域政策学科	220	880
合計		1,995	7,980

（修業年限及び在学年数）

第４条　各学部の修業年限は、４年とする。ただし、学生は、休学期間を除き、８年を超えて在学することはできない。

（大学院）

第５条　本大学に大学院を置く。

２　大学院の学則は、別に定める。

（専門職大学院）

第６条　大学院に専門職大学院を置く。

２　専門職大学院の学則は、別に定める。

（附属機関）

第７条　本大学に図書館を置く。

２　前項の図書館に関する規定は、別に定める。

第７条の２　本大学に研究所及びその他の附属機関を置く。

（１）　国際問題研究所

（２）　中部地方産業研究所

（３）　綜合郷土研究所

（４）　経営総合科学研究所

（５）　人文社会学研究所

（６）　国際中国学研究センター

（７）　東亜同文書院大学記念センター

（８）　三遠南信地域連携研究センター

（９）　一般教育研究室

（10）　語学教育研究室

（11）　体育研究室

（12）　中日大辞典編纂所

（13）　学習・教育支援センター

（14）　教職課程センター

（15）　情報メディアセンター

（16）　国際ビジネスセンター

（17）　エクステンションセンター

（18）　ボランティアセンター

（19）　キャリア支援センター

２　前項の研究所及びその他の附属機関に関する規定は、別に定める。

第２章　職員組織

（学長）

第８条　本大学に学長を置く。

２　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

（副学長）

第８条の２　本大学に副学長を置く。

２　副学長は、学長を補佐し、命を受けて校務をつかさどる。

３　副学長に関する規定は、別に定める。

（学部長）

第９条　本大学に学部長を置く。

２　学部長は、学部を総轄する。

３　複数の学科を設置する学部については、学部長を補佐するために、学部学科長を置くことができる。

（学長補佐）

第９条の２　本大学に学長補佐を置くことができる。

２　学長補佐は、学長を補佐する。

３　学長補佐に関する規定は、別に定める。

（職員）

第10条　本大学に教授、准教授、助教、助手及びその他の職員を置く。

２　本大学に兼任の教員（講師）を置くことができる。

３　前２項に定める教員の任用等に関しては、別に定める。

（教授会）

第11条　本大学各学部に教授会を置く。

２　教授会は、各学部に所属する専任の教授、准教授及び助教をもって組織する。

第12条　教授会は、教育研究に関する次の事項を審議し、学長が決定を行うに際して意見を述べるものとする。

（１）　教育課程の編成並びに授業の計画及び実施に関する事項

（２）　試験に関する事項

（３）　学生の入学、退学、転学部、転学科、進級、休学及び卒業に関する事項

（４）　学位の授与に関する事項

（５）　学生の指導及び賞罰に関する事項

（６）　教員の教育研究業績の審査に関する事項

（７）　教育研究の質保証に係る自己点検・評価に関する事項

（８）　法令並びに学校法人及び大学の諸規程において、教授会の議を経ることを要すると定められた事項

２　学長は、前項の決定をするにあたり、教授会の意見を十分に参酌しなければならない。

３　教授会は、第１項に定める事項のほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項を審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

４　前各項のほか、教授会に関しては、別に定める。

（大学評議会）

第13条　本大学に大学評議会を置く。

２　次の各号に掲げる事項は、大学評議会の議を経なければならない。

（１）　学則の変更に関する事項

（２）　大学枠教員の人事に関する事項

（３）　各学部教授会の決定事項のうち前条第２項により大学評議会が承認すべき事項

（４）　その他、全学の教学に関する重要な事項

３　前各項のほか、大学評議会に関しては、別に定める。

第３章　教育課程

（授業科目）

第14条　授業科目の名称及び単位数は、別表に掲げるとおりとする。ただし、年度により教授会の議を経て、授業科目の一部を開講しないこと及び本条別表以外の授業科目を特別に開講することがある。

２　授業科目の履修に関する規定は、別に定める。

（授業科目の単位数）

第15条　各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

（１）　講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって１単位とする。

（２）　実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって１単位とする。

（３）　第１号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合については、その組み合わせに応じ、前２号に規定する基準を考慮して別に定める。

２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

３　各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上必要があると認められる場合には、この期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

（成績評価基準等の明示等）

第15条の２　本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに１年間の授業の計画をあらかじめ明示する。

２　本大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第15条の３　本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する。

（他の大学又は短期大学における修得単位の取扱い）

第16条　教育上有益と認めるときは、本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

３　前２項の規定により修得した単位は、教授会の議に基づき30単位を限度として本大学において修得したものとして取扱う。ただし、現代中国学部ダブルディグリー・プログラム参加学生の修得単位の取扱については、別に定める。

４　他の大学又は短期大学における修得単位の認定に関する規定は、別に定める。

（休学期間中に外国の大学において修得した単位の取扱い）

第16条の２　前条の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、本大学の定めるところにより学生が休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

２　前項により与えることができる単位数は、休学期間が半年間では４単位まで、１年間では８単位までとし、通算では８単位を上限とする。ただし、前条により与えることが

できる単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

3　休学期間中に外国の大学において修得した単位の認定に関する規定は、別に定める。

（入学前の既修得単位の取扱い）

第17条　教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。

2　前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、30単位を限度とする。

3　既修得単位の認定に関する規定は、別に定める。

（教育職員免許状とその履修方法）

第18条　各学部及び学科に教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程（以下「教職課程」という。）を置く。

2　前項の免許状の種類は、別表のとおりとする。

3　第１項の課程の教科及び教職に関する科目の授業科目及び単位数は別表のとおりとする。

4　免許状を取得するための履修方法等については、別に定める。

（司書及び司書教諭）

第19条　司書及び司書教諭の所要資格を得させるに必要な授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

2　司書及び司書教諭の資格を取得するための履修方法等については、別に定める。

（学芸員及び社会教育主事）

第20条　学芸員及び社会教育主事の所要資格を得させるに必要な授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

2　学芸員及び社会教育主事の資格を取得するための履修方法等については、別に定める。

（履修登録の手続）

第21条　学生は、履修しようとする授業科目を選択し、履修登録の手続をとらなければならない。

2　履修登録の手続は、毎学期初めの指定する時期に行うものとする。

第４章　試験、卒業及び学位

（試験及び成績）

第22条　春学期末又は秋学期末において、所定の履修科目について試験を行う。ただし、平常の成績をもって試験に代えることを認められた授業科目については、この限りでない。

２　前項の定期試験のほかに、必要があるときは臨時に試験を行うことがある。

第23条　成績評価は、S、A、B、C及びFで示し、S、A、B及びCを合格とし、Fを不合格とする。

２　履修科目の試験に合格した者には、所定の単位を与える。

３　試験及び成績評価に関する規定は、別に定める。

（卒業に必要な単位）

第24条　各学部の卒業に必要な単位は、別表に掲げるとおりとする。

（進級の要件）

第24条の２　文学部にあっては、１年次までの修得単位数が22単位に満たない場合２年次に、経営学部にあっては、２年次までの修得単位数が48単位に満たない場合３年次に、進級することができない。

２　進級に関する規定は、別に定める。

（卒業の要件）

第25条　卒業の要件は、本大学に４年以上在学し、卒業に必要な単位を修得していなければならない。

（学位）

第26条　卒業の要件を備えた者には、教授会の議を経て卒業の資格を認定し、学士の学位を授与する。

２　学士の学位に付する専攻分野の名称は、その学部又は学科に従って、別表に掲げるとおりとする。

第５章　入学、編入学、転学、留学、休学、退学及び除籍

（入学の時期）

第27条　入学の時期は、毎学年の初めとする。

（入学資格）

第28条　本大学の学部１年次に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

（３）　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上

の学力があると認められる者で次のいずれかに該当し18歳に達したもの

イ　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ハ　文部科学大臣の指定した者

ニ　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

ホ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ　本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（入学試験）

第29条　入学志願者に対しては、入学試験を行う。

第30条　入学志願者は、所定の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

（入学の手続）

第31条　入学を許可された者は、誓約書、保証書、その他大学の必要とする書類を指定の期日までに提出しなければならない。

２　保証人は、父若しくは母又はその他の成年者で独立して生計を営む者でなければならない。

３　保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

（編入学）

第32条　本大学に編入学（転入学を含む。）を志願する者があるときは、試験を行い、教授会の議を経て相当年次に入学を許可することがある。

２　前項の規定により入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）　大学を卒業した者又は１年以上在学し、所定の単位を修得した者

（２）　短期大学又は高等専門学校を卒業した者

（３）　専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者で、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するもの

（４）　外国において、学校教育における13年以上の課程を修了した者

（５）　その他前各号に規定する者と同等以上の学力があると本学が認めた者又は文部科学大臣が指定した者

３　第１項の規定により入学を許可された者の既修得単位について、その一部又は全部を本大学において修得したものとして認定することができる。

（転学、転学部及び転学科）

第33条　次の者は、所属学部長の許可を得なければならない。

（１）　本大学から他の大学に転学を希望する者

（２）　本大学の他の学部の学科に転学部を希望する者

（３）　本大学の同一学部内の他の学科に転学科を希望する者

２　転学、転学部及び転学科に関する規定は、別に定める。

（外国留学）

第34条　学生が外国の大学へ留学する場合には、教授会の議を経て留学させることができる。

２　留学の期間は、２年を限度とする。

３　前項の留学期間は、１年を限度として本学の修業年限に算入する。

４　留学中の学費は、学費等納入規程の定めるところによる。

（休学）

第35条　病気その他やむを得ない事由によって引続き２ヵ月以上修学できない者は、保証人連署のうえ休学願を提出し、許可を得て休学することができる。

２　休学期間は、半年間又は１年間とする。

３　休学開始の時期は、春学期又は秋学期の初めとする。ただし、入学後最初の学期は原則として休学することができない。

４　休学中の学費等は、学費等納入規程の定めるところによる。

第36条　休学期間は、通算３年以内とする。

２　休学期間は、在学期間に算入しない。

３　休学期間中にその事由が消滅した場合には、許可を得て復学することができる。

（退学）

第37条　病気その他やむを得ない事由によって退学しようとする者は、保証人が連署した退学願を学生証とともに提出しなければならない。

（除籍）

第38条　次の各号の一に該当する者は、除籍する。

（１）　授業料その他所定の学費を指定期日までに納入しない者

（２）　第４条ただし書に定める在学年数の限度を超える者

（３）　第34条に定める外国留学の期間の限度を超える者

（４）　第36条に定める休学期間の限度を超え、なお就学できない者

（５）　本大学において修学不能と認められ、前条に定める退学の手続きを取らない者

（６）　死亡又は長期間にわたって行方不明の者

（復籍）

第39条　前条第１号により除籍された者が復籍を願出た場合には、教授会の議を経て許可することがある。

（再入学）

第40条　第37条により退学した者及び第38条第１号により除籍された者が、退学又は除籍の日から２年以内に再入学を願出た場合には、教授会の議を経て許可することがある。ただし、再入学の時期は、春学期又は秋学期の初めとする。

第６章　学年、学期及び休業日

（学年）

第41条　本大学の学年は、毎年４月１日に始まり、翌年３月31日に終る。

（学期）

第42条　学年は、春学期と秋学期に分け、次のとおりとする。

春学期　４月１日より９月15日まで

秋学期　９月16日より翌年３月31日まで

２　学長は、必要がある場合、前項に定める春学期の終期及び秋学期の始期を変更することができる。

（休業日）

第43条　休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業をし、又は試験を実施することがある。

（１）　日曜日

（２）　国民の祝日に関する法律に規定する休日

（３）　創立記念日　11月15日

（４）　夏季休業

（５）　冬季休業

（６）　春季休業

２　前項第４号から第６号の休業の期間に関しては、別に定める。

３　必要がある場合は、学長は第１項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第７章　学費等

（学費等）

第44条　入学検定料、入学金及び授業料その他の学費は、学費等納入規程に定めるとおりとする。

２　前項の学費及びその他の学費等は、学費等納入規程の定めるところにより所定の期日までに納入しなければならない。

３　学費等は、一たん納入した後は返還しない。

第８章　科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び外国人留学生

（科目等履修生）

第45条　本大学の学生以外の者で一又は複数の授業科目について履修を希望する者があるときは、教育研究に支障のない限り、教授会において選考のうえ科目等履修生として履修を許可する。

２　科目等履修生に対する単位の授与については、第23条の規定を準用する。

３　科目等履修生に関する規定は、別に定める。

（特別聴講学生）

第46条　本学において、他の大学又は短期大学（外国の大学及び短期大学を含む。）との協議により、当該大学又は短期大学の学生に特別聴講学生として本学の授業科目を履修させることがある。

２　特別聴講学生に関する規定は、別に定める。

（研究生）

第47条　本大学学部において、特定の専門事項について研究を志望する者があるときは、教授会において選考のうえ、研究生として許可する。

２　研究生に関する規定は、別に定める。

（外国人留学生）

第48条　外国人留学生（以下「留学生」という。）は、次の各号のとおりとし、各号の留学生受入れに関する規定は、別に定める。

（１）　学部留学生

本大学学部に入学を志願し、選考のうえ入学を許可された者

（２）　協定留学生

本大学と外国の大学との協定又は事前の個別的合意に基づき入学を許可された者

２　外国人留学生については、学修の必要に応じて特別の科目として日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

３　協定留学生の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

第９章　公開講座

（公開講座）

第49条　本大学は、随時に公開講座を設ける。

第10章　学生寮及び厚生保健施設

（学生寮）

第50条　本大学に、学生寮を設けることができる。

（保健室）

第51条　本大学に、教職員及び学生の保健室を設ける。

（厚生施設）

第52条　本大学に、教職員及び学生の厚生施設を設ける。

第11章　奨学

（奨学制度）

第53条　本大学に、奨学制度を設ける。

２　奨学制度に関する規定は、別に定める。

第12章　賞罰

（表彰）

第54条　学生として表彰に値する行為があったときは、表彰することができる。

（懲戒）

第55条　本大学の学則及び諸規程に違反し、その他学生の本分に反すると認められた者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

２　懲戒は、訓戒、謹慎、停学又は退学とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対してのみ行う。

（１）　性行不良で改善の見込がないと認められる者

（２）　学業を怠り成業の見込がないと認められる者

（３）　大学の秩序を乱し、その他学生の本分に反したと認められる者

第13章　学則の変更

（学則の変更）

第56条　この学則の変更は、関係教授会、常任理事会、学内理事会及び大学評議会の議を経て、学長が決定する。

２　前項の規定にかかわらず、次の各号に定める学則の変更は、理事会の承認を得なければならない。

（１）　学部・学科等の変更に係わる事項

（２）　学生定員の変更に係わる事項

附　則（制定）

本学則は、昭和24年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和25年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和28年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和31年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和32年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和33年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和34年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和35年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和36年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和38年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和39年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和40年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和41年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和42年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和43年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和45年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和46年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和47年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和49年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和50年４月１日からこれを施行する。

附　則

本学則は、昭和51年４月１日からこれを施行する。

附　則（外国語の単位数減少、経済・経営学科専門教育科目の選択拡大に伴う改正）

本学則は、昭和53年４月１日からこれを施行する。ただし、昭和52年度までの入学生（昭和52年度入学の法経学部第１部及び第２部学生を除く。）については、なお従前の例による。

附　則（社会学科卒業生に社会学士の称号を授与すること並びに経済学科及び経営学科専門教育科目増加に伴う改正）

本学則は、昭和54年４月１日からこれを施行する。

附　則（入学資格の明確化並びに授業科目の新設、変更及び単位数の変更に伴う改正）

本学則は、昭和55年４月１日からこれを施行する。ただし、昭和54年度までの社会学科入学生及び昭和52年度までの文学科入学生については、なお従前の例による。

附　則（入学資格の明確化、授業科目の新設、変更及び単位数の変更並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和56年４月１日からこれを施行する。ただし、昭和54年度までの社会学科入学生については、なお従前の例による。

附　則（授業科目の新設、削除及び名称変更に伴う改正）

本学則は、昭和57年４月１日からこれを施行する。

附　則（授業科目の単位数の変更、休学期間の明確化、連絡教授会構成員の増員及び奨学規定の新設並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和58年４月１日からこれを施行する。ただし、昭和57年度までの入学生の休学し得る期間及び56年度までの文学科入学生の授業科目の単位数については、なお従前の例による。

附　則（単位互換、入学者の既修単位の認定、留学規定の追加及び史学科専門教育科目の必修・選択科目・単位数の変更並びに全面改正）

本学則は、昭和59年４月１日からこれを施行する。ただし、史学科専門教育科目の必修・選択科目及び単位数の変更については、昭和57年度以前の史学科入学生は、なお従前の例による。

附　則（連絡教授会構成員の増員、入学検定料の明示、入学登録料の名称変更及び字句の整理等に伴う改正）

本学則は、昭和60年４月１日からこれを施行する。

附　則（入学検定料改定に伴う改正）

本学則は、昭和60年６月１日からこれを施行する。

附　則（司書授業科目及び資格取得単位数の変更並びに学費改定に伴う改正）

本学則は、昭和61年４月１日からこれを施行する。ただし、司書授業科目及び資格取得単位について、昭和59年度以前の入学生は、なお従前の例による。

附　則（別表授業科目の新設及び削除、文学部史学科地理学専修の必修・選択科目及び単位数の変更並びに期間を付した定員増等に伴う改正）

１　本学則は、昭和62年４月１日からこれを施行する。

２　昭和61年度以前の法経学部第１部入学生の授業科目の履修については、なお従前の例による。ただし、授業科目「消費者行動論」は、昭和61年度以前の法経学部入学生のうち、経済学科生及び経営学科生の選択科目として履修を認める。

３　昭和60年度以前の史学科地理学専修の入学生は、なお従前の例による。

４　第３条の規定にかかわらず、昭和62年度から1992年（平成４年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	40	
	社会学科	60	
	史学科	70	
	文学科	130	
	計	300	
経済学部	経済学科	400	200
法学部	法学科	300	200
経営学部	経営学科	400	
合計		1,400	400

附　則（文学部及び法経学部第１部・同第２部の授業科目及び卒業要件の変更、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の新設、研究生規定の追加、学費改定並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、昭和63年４月１日からこれを施行する。ただし、昭和62年度以前入学生の授業科目の履修及び卒業要件については、法経学部第２部法学科の「卒業論文」を除き、なお従前の例による。法経学部第２部法学科の「卒業論文」は、昭和62年度以前の入学生についても選択科目とする。

附　則（経済学部１部、経済学部２部、法学部１部、法学部２部及び経営学部の設置に伴う改正）

本学則は、1989年（平成元年）４月１日からこれを施行する。ただし、昭和63年度以前に入学した法経学部第１部及び同第２部の学生の授業科目の履修及び卒業要件は、なお従前の例による。

附　則（入学検定料の改定及び役職名称の変更並びに字句の整理に伴う改正）

本学則は、1989年（平成元年）６月１日から施行する。

附　則（教育職員免許法の一部改正及び学費改定に伴う改正）

１　本学則は、1990年（平成２年）４月１日からこれを施行する。ただし、教職課程の授業科目及び修得必要単位数について、1989年（平成元年）度以前に入学した文学部学生及び1988年（昭和63年）度以前に入学した法経学部第１部及び法経学部第２部学生は、

なお従前の例による。

2　1989年（平成元年）度に入学した経済学部１部、経済学部２部、法学部１部、法学部２部及び経営学部学生の教職に関する専門教育科目の授業科目及び修得必要単位数については、前項ただし書を準用する。

附　則（入学検定料の改定に伴う改正）

本学則は、1990年（平成２年）６月15日からこれを施行する。

附　則（学費の施設設備資金を教育充実費に名称変更することに伴う改正）

本学則は、1990年（平成２年）12月１日からこれを施行する。

附　則（教職課程の正規の課程に高等学校の免許状にかかる教科「地理歴史」及び「公民」を加えること並びに期間を付した定員増に伴う改正）

1　本学則は、1991年（平成３年）４月１日からこれを施行する。

2　前項の規定にかかわらず、教職課程「地理歴史」及び「公民」の各免許状授与にかかる授業科目及び修得必要単位数については、1990年（平成２年）度入学生より適用する。

3　第３条の規定にかかわらず、1991年（平成３年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		1991・1992年（平成3・4年）度		1993～1999年（平成5～11年）度	
		入学定員		入学定員	
		1部	2部	1部	2部
文学部	哲学科	50		40	
	社会学科	80		60	
	史学科	80		50	
	文学科	140		80	
	計	350		230	
経済学部	経済学科	460	200	360	200
法学部	法学科	400	200	300	200
経営学部	経営学科	460		360	
合計		1,670	400	1,250	400

附　則（大学設置基準、学位規則の改正、文学部文学科授業科目の増設、学芸員及び社会教育主事授業科目単位数の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

1　本学則は、1992年（平成４年）４月１日からこれを施行する。

2　前項の規定にかかわらず、第26条の学士の学位の授与については、1991年（平成３年）９月30日卒業生から適用する。

附　則（文学部文学専攻科の廃止に伴う改正）

本学則は、1992年（平成４年）６月10日から施行する。

附　則（自己点検・評価規定の追加、期間を付した定員変更、学期・休業日の一部変更、総合科目の選択化、経済学部授業科目の一部新設、法学部授業科目の履修区分の一部変更、経営学部授業科目単位数の一部変更及び教職課程別表から聴講生の課程を削除することに伴う改正）

（施行期日）

1　この学則は、1993年（平成５年）４月１日から施行する。

（経過措置）

2　この学則による改正後の第17条別表中一般教育科目「総合科目」の選択化については、1991年（平成３年）度以降の入学生から適用する。

3　この学則による改正後の第18条別表中経済学部１部「発展途上国経済論」は1991年（平成３年）度以降の入学生から適用し、経済学部２部「地域経済論」、「発展途上国経済論」の新設及び法学部１部・２部「演習」の選択化は1992年（平成４年）度以降の入学生から適用し、法学部１部・２部「憲法」、「民法１部」の履修区分変更は1993年（平成５年）度以降の入学生から適用し、法学部１部「卒業論文」の選択化は1990年（平成２年）度以降の入学生から適用する。

4　第３条及び1991年（平成３年）４月１日施行附則第３項の規定にかかわらず、1993年（平成５年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		1993～1999年（平成5～11年）度	
		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	50	
	社会学科	80	
	史学科	80	
	文学科	140	
	計	350	
経済学部	経済学科	460	200
法学部	法学科	400	200

経営学部	経営学科	460	
合計		1,670	400

附　則（文学部史学科教職課程科目の新設に伴う改正）

1　この学則は、1993年（平成５年）12月１日から施行する。

2　この学則による改正後の第18条別表中教職課程科目「地誌学」は、1990年（平成２年）度以降の入学生から適用する。

附　則（編入学、休学、科目等履修生及び特別聴講学生に関する規定の整備並びに学費の改定等に伴う改正）

この学則は、1994年（平成６年）４月１日から施行する。

附　則（入学検定料改定に伴う改正）

この学則は、1994年（平成６年）６月15日から施行する。

附　則（３年次編入学定員設定による学生定員変更、海外短期語学セミナー参加学生の単位認定による授業科目の新設と卒業要件の変更、経済学部１部・２部の授業科目の名称変更及び法学会・経済学会・経営学会の大学会計への帰属による「学会費」の徴収方法の変更等に伴う改正）

1　この学則は、1995年（平成７年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、海外短期語学セミナー参加学生の単位認定による新設授業科目の履修及び卒業要件については、1994年（平成６年）度の参加学生にも適用する。

3　この学則による改正後の第18条別表中経済学部１部「比較経済体制論」は1993年（平成５年）度以降の入学生から適用し、経済学部２部「比較経済体制論」は1994年（平成６年）度以降の入学生から適用する。

附　則（学費の改定、授業科目区分の変更、２学期制による授業科目の変更、各学部授業科目履修規程及び試験及び成績評価に関する規程の制定による条項の整理等に伴う改正）

（施行期日）

1　この学則は、1996年（平成８年）４月１日から施行する。

（経過措置）

2　1996年（平成８年）３月31日現在本大学に在学中の者（以下この項について「在学者」という。）及び1996年（平成８年）４月１日以降において在学者の属する年次に学士入学、再入学または転入学する者については、なお従前の例による。ただし、改正前学則第17条及び同条別表に規定する一般教育科目分野別の単位修得要件については、各

学部ともこれを廃し合計８科目32単位以上の修得をもって足りるものとする。

附　則（現代中国学部の設置、履修届の提出時期と成績評価方法の変更、文学部、経済学部１部、法学部１部及び法学部２部の授業科目の変更、司書、学芸員及び社会教育主事に関する専門教育科目の授業科目の変更と資格修得要件単位数の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

（施行期日）

１　この学則は、1997年（平成９年）４月１日から施行する。

（経過措置）

２　前項の規定にかかわらず、1996年（平成８年）度以前の入学生の授業科目の履修については、なお従前の例による。

３　第２項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表文学部４専門共通選択科目（各学科共通）、経済学部１部経済学科３専門教育科目中「情報管理」、「生涯学習概論Ⅰ」、「生涯学習概論Ⅱ」及び「博物館概論」並びに法学部２部法学科３法学教育科目中「海外セミナーBⅠ」、「海外セミナーBⅡ」、「外国理解BⅠ」及び「外国理解BⅡ」は、1996年度以降の入学生から適用する。

４　第２項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第20条第１項別表学芸員及び社会教育主事に関する授業科目表１学芸員に関する専門教育科目及び社会教育主事に関する専門教育科目中「生涯学習概論Ⅰ」、「生涯学習概論Ⅱ」、「博物館概論」、「博物館学各論Ⅰ」、「博物館学各論Ⅱ」、「教育学概論」、「人権教育論」及び「博物館実習Ⅱ」並びに第19条第１項別表司書及び司書教諭に関する授業科目表１司書に関する専門教育科目は、1997年（平成９年）３月31日現在本大学に在学中の者にも適用する。

５　第３条及び1993年（平成５年）４月１日施行附則第４項の規定にかかわらず、1997年（平成９年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	50	
	社会学科	80	
	史学科	80	
	文学科	140	
	計	350	
経済学部	経済学科	460	200

法学部	法学科	380	200
経営学部	経営学科	430	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,800	400

附　則（国際コミュニケーション学部の設置、教養部組織の廃止、文学部、経済学部１部、経済学部２部、法学部１部、法学部２部、経営学部の授業科目の変更、法学部１部の卒業要件の変更及び字句の整理等に伴う改正）

１　この学則は、1998年（平成10年）４月１日から施行する。

２　前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表文学部、経済学部１部、経済学部２部、法学部１部、法学部２部、経営学部、現代中国学部の授業科目の履修については、1996年度以降入学生から適用する。

３　第３条の規定にかかわらず、1998年（平成10年）度から1999年（平成11年）度までの入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	47	
	社会学科	76	
	史学科	76	
	文学科	131	
	計	330	
経済学部	経済学科	460	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	90	
	比較文化学科		
	昼間主コース	80	
	夜間主コース	(80)	
	計	170 (80)	
法学部	法学科	370	200
経営学部	経営学科	420	
現代中国学部	現代中国学科	180	

合計	1,930 (80)	400

（注）　（　）内は、夜間主コースで外数。

附　則（連絡教授会構成員の増員に伴う改正）

この学則は、1998年（平成10年）７月１日から施行する。

附　則（文学部日本・中国文学科及び欧米文学科の設置、文学部、経済学部１部、国際コミュニケーション学部、経営学部、司書課程、学芸員及び社会教育主事課程の授業科目の変更、文学部各学科の専修を専攻に変更したこと及び学費の改定等に伴う改正）

１　この学則は、1999年（平成11年）４月１日から施行する。

２　前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表文学部の授業科目の履修及び卒業要件について、1998年（平成10年）度以前入学生は、なお従前の例による。

３　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表経済学部１部経済学科３専門教育科目中「中国経済論」、「中国産業概論」、「中国農業論」、「中国のアジア太平洋政策」、「中国アジア経済特殊講義」及び同別表経営学部経営学科３経営学教育科目中「現代日本の企業経営」、「現代企業の経営環境」は、1996年度以降入学生から適用する。

４　第３条及び1998年（平成10年）４月１日施行附則第３項の規定にかかわらず、1999年（平成11年）度の入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	47	
	社会学科	76	
	史学科	76	
	日本・中国文学科	56	
	欧米文学科	75	
	計	330	
経済学部	経済学科	460	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科	90	

	比較文化学科 昼間主コース 夜間主コース	80 (80)	
	計	170 (80)	
法学部	法学科	370	200
経営学部	経営学科	420	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,930 (80)	400

（注）　（　）内は、夜間主コースで外数。

附　則（文学部学生定員の増加、期間を付した入学定員の設定、教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類の追加、専門学校からの編入学受入れ、法学部１部・２部、経営学部の授業科目及び卒業要件の変更、国際コミュニケーション学部の単位数変更、教職課程再課程認定に係わる授業科目及び修了要件の変更並びに学費の改定等に伴う改正）

1　この学則は、2000年（平成12年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表各授業科目の履修及び卒業要件、第18条第３項別表教職に関する授業科目の履修及び修了要件について、1999年（平成11年）度以前入学生は、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表国際コミュニケーション学部比較文化学科授業科目中「比較文化フィールド・ワーク」の単位数については、1998年度入学生から適用する。

4　第２項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表法学部１部法学科３法学教育科目中「行政法総論Ⅰ」、「行政法総論Ⅱ」、「国際取引法Ⅰ」、「国際取引法Ⅱ」及び同別表法学部２部法学科３法学教育科目中「地方自治論Ⅰ」、「地方自治論Ⅱ」並びに同別表経営学部経営学科３経営学教育科目中「品質管理論」、「経営数学入門」、「行政法総論Ⅰ」、「行政法総論Ⅱ」は1996年度以降入学生から適用する。

5　第１項の規定にかかわらず、2000年度編入学試験の志願者は前年度の出願時から適用する。

6　第３条の規定にかかわらず、2000年（平成12年）度の入学定員は次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	
		1部	2部
文学部	哲学科	46	
	社会学科	73	
	史学科	74	
	日本・中国文学科	55	
	欧米文学科	73	
	計	321	
経済学部	経済学科	440	200
国際コミュニケーション学部	言語コミュニケーション学科 比較文化学科 昼間主コース 夜間主コース	90 80 (80)	
	計	170 (80)	
法学部	法学科	354	200
経営学部	経営学科	406	
現代中国学部	現代中国学科	180	
合計		1,871 (80)	400

（注）　（　）内は、夜間主コースで外数。

附　則（文部大臣が文部科学大臣に変更されたこと、文学部の入学定員増及び期間を付した入学定員の表示、休学の取扱いに関する条文の整理、経済学部１部、経済学部２部、法学部２部、経営学部及び現代中国学部授業科目の追加等に伴う改正）

1　この学則は、2001年（平成13年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第35条及び第14条第１項別表経営学部経営学科３経営学教育科目の履修は、1996年（平成８年）度入学生から適用する。

3　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表経済学部１部経済学科及び経済学部２部経済学科３専門教育科目並びに法学部２部法学科３法学教育

科目の履修は、2000年（平成12年）度入学生から適用する。

4　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表現代中国学部現代中国学科基幹科目の履修は、1997年（平成９年）度入学生から適用する。

5　第３条の規定にかかわらず、2001年（平成13年）度から2007年（平成19年）度までの学生定員は次のとおりとする。

学部及び学科名			2001年（平成13年）度		2002年（平成14年）度		2003年（平成15年）度		2004年（平成16年）度		2005年（平成17年）度		2006年（平成18年）度		2007年（平成19年）度	
			入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部		哲学科	45	195	43	191	40	184	37	175	29	159	29	145	29	134
		社会学科	70	315	65	304	61	289	57	273	38	241	38	214	38	191
		史学科	73	319	68	311	63	298	58	282	44	253	44	229	44	210
		日本・中国文学科	53	170	50	226	47	217	44	206	30	183	30	163	30	146
		欧米文学科	71	228	67	304	63	292	59	278	39	246	39	218	39	194
		文学科	—	146	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	312	1,373	293	1,336	274	1,280	255	1,214	180	1,082	180	969	180	875
経済学部	1部	経済学科	420	1,840	400	1,780	380	1,700	360	1,620	300	1,500	300	1,400	300	1,320
	2部	経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コミュニケーション学部		言語コミュニケーション学科 比較文化学科	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400
		昼間主コース	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380
		夜間主コース	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
		計	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)
法学部	1部	法学科	338	1,492	322	1,444	306	1,380	290	1,316	170	1,148	170	996	170	860
	2部	法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
経営学部		経営学科	392	1,698	378	1,656	364	1,600	350	1,544	260	1,412	260	1,294	260	1,190
現代中国学		現代中国学科	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770

部															
合計	1部	1,812 (80)	7,953 (320)	1,743 (80)	7,766 (320)	1,674 (80)	7,510 (320)	1,605 (80)	7,244 (320)	1,260 (80)	6,692 (320)	1,260 (80)	6,209 (320)	1,260 (80)	5,795 (320)
	2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600

（注）

1　収容定員には編入学定員を含む。

2　（　）は、夜間主コースで外数。

附　則（外国人留学生別科の設置、文学部の入学定員増、各学部授業科目及び卒業要件の変更、教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類の追加、学芸員及び社会教育主事に関する専門教育科目の追加、文学部社会学科調査実習費の廃止並びに現代中国学部実習費納入時期の変更等に伴う改正）

1　この学則は、2002年（平成14年）４月１日から施行する。

2　第３条の規定にかかわらず、2002年（平成14年）度から2007年（平成19年）度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名			2002年（平成14年）度		2003年（平成15年）度		2004年（平成16年）度		2005年（平成17年）度		2006年（平成18年）度		2007年（平成19年）度	
			入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学部		哲学科	44	192	41	186	38	178	30	163	30	149	30	138
		社会学科	66	305	62	291	58	276	39	245	39	218	39	195
		史学科	72	315	67	306	62	294	48	269	48	245	48	226
		日本・中国文学科	52	228	49	221	46	212	32	191	32	171	32	154
		欧米文学科	69	306	65	296	61	284	41	254	41	226	41	202
		計	303	1,346	284	1,300	265	1,244	190	1,122	190	1,009	190	915
経済学部	1部	経済学科	400	1,780	380	1,700	360	1,620	300	1,500	300	1,400	300	1,320
	2部	経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コミュニケーション学部		言語コミュニケーション学科 比較文化学科	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400	90	400

		昼間主コース	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380	80	380
		夜間主コース	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
		計	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)	170 (80)	780 (320)
法学部	1部	法学科	322	1,444	306	1,380	290	1,316	170	1,148	170	996	170	860
	2部	法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
経営学部		経営学科	378	1,656	364	1,600	350	1,544	260	1,412	260	1,294	260	1,190
現代中国学部		現代中国学科	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770	180	770
合計		1部	1,753 (80)	7,776 (320)	1,684 (80)	7,530 (320)	1,615 (80)	7,274 (320)	1,270 (80)	6,732 (320)	1,270 (80)	6,249 (320)	1,270 (80)	5,835 (320)
		2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600

（注）　収容定員には編入学定員を含む。

3　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表各学部授業科目の履修及び卒業要件について、2001年（平成13年）度以前入学生は、なお従前の例による。

4　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科及び比較文化学科基本教育科目の資格課程履修科目の履修は、2000年（平成12年）度入学生から適用する。

附　則（副学長の配置に関する字句整理及び学監職の廃止、文学部の入学定員増、各学部の編入学定員の減少、編入学資格の変更、除籍の事由の追加、法学部１部、経営学部及び現代中国学部の授業科目の追加、学芸員に関する専門教育科目の追加並びに法学部１部の教育充実費の改定に伴う改正）

1　この学則は、2003年（平成15年）４月１日から施行する。

2　第３条の規定にかかわらず、2003年（平成15年）度から2007年（平成19年）度までの学生定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名	2003年（平成15年）度		2004年（平成16年）度		2005年（平成17年）度		2006年（平成18年）度		2007年（平成19年）度	
	入学	収容	入学	収容	入学	収容	入学	収容	入学	収容

			定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員	定員
文学部		哲学科	42	185	39	176	31	162	31	149	31	138
		社会学科	63	287	59	268	40	238	40	212	40	189
		史学科	71	305	66	292	52	271	52	251	52	232
		日本・中国文学科	51	222	48	214	34	195	34	177	34	160
		欧米文学科	67	294	63	280	43	252	43	226	43	202
		計	294	1,293	275	1,230	200	1,118	200	1,015	200	921
経済学部	1部	経済学科	380	1,682	360	1,584	300	1,464	300	1,364	300	1,284
	2部	経済学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
国際コミュニケーション学部		言語コミュニケーション学科	90	388	90	376	90	376	90	376	90	376
		比較文化学科										
		昼間主コース	80	365	80	350	80	350	80	350	80	350
		夜間主コース	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
		計	170	753	170	726	170	726	170	726	170	726
			(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
法学部	1部	法学科	306	1,362	290	1,280	170	1,112	170	960	170	824
	2部	法学科	200	800	200	800	200	800	200	800	200	800
経営学部		経営学科	364	1,582	350	1,508	260	1,376	260	1,258	260	1,154
現代中国学部		現代中国学科	180	755	180	740	180	730	180	730	180	730
合計		1部	1,694	7,427	1,625	7,068	1,280	6,526	1,280	6,053	1,280	5,639
			(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)	(80)	(320)
		2部	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600	400	1,600

（注）　収容定員には編入学定員を含む。

3　第１項の規定にかかわらず、法学部１部、経営学部及び現代中国学部の追加科目の履修は2002年（平成14年）度入学生から、学芸員に関する授業科目の履修は2003年（平成

15年）度入学生から適用する。

附　則（経済学部２部経済学科、法学部２部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの学生募集停止、経済学部１部、法学部１部及び国際コミュニケーション学部比較文化学科昼間主コースの名称変更、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部及び経営学部の収容定員の変更、専門職大学院の設置、休業日と規定する日に授業又は試験を実施すること、文学部外国人留学生の卒業要件の一部変更、国際コミュニケーション学部の授業科目名称、単位数及び配当セメスターの一部変更、法学部社会人入試入学者の卒業要件の規定並びに教職に関する科目を一部削除することに伴う改正）

1　この学則は、2004年（平成16年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、経済学部２部経済学科、法学部２部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースは、2003年（平成15年）度以前の入学生が在学しなくなるまでの間、なお存続するものとする。

3　第１項の規定にかかわらず、2003年（平成15年）度以前に入学した経済学部２部経済学科、法学部２部法学科及び国際コミュニケーション学部比較文化学科夜間主コースの学生の授業科目の履修及び卒業要件は、なお従前の例による。

4　第１項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表文学部外国人留学生の卒業要件、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の授業科目名称、単位数及び配当セメスター、第18条第３項別表教職に関する科目の授業科目の履修について、2003年（平成15年）度以前の入学生は、なお従前の例による。

附　則（文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科及び欧米文学科の学生募集停止、人文社会学科の設置、経営学部会計ファイナンス学科の設置、管理運営の見直し、経営学部経営学科の授業科目及び卒業要件の変更、経営学部において進級制度を実施すること、経済学部経済学科授業科目区分のコース別卒業必要単位数の変更及び授業科目の新設、国際コミュニケーション学部授業科目の新設、授業科目名称の変更、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科ドイツ語専攻の廃止、経営学部会計ファイナンス学科設置による法学部法学科及び現代中国学部現代中国学科の授業科目区分の変更並びに文学部人文社会学科心理学専攻の調査実習費の納入額を定めることに伴う改正）

1　この学則は、2005年（平成17年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2004年（平成16年）度以前入学生は、なお従前の例によ

る。

附　則（学校教育法施行規則の一部改正及び高等学校卒業程度認定試験規則の施行に伴う改正）

この学則は、2005年（平成17年）12月１日から施行する。

附　則（外国人留学生別科の廃止、履修届に関する条文の文言整理、各学部授業科目の新設及び名称変更、国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の英語以外の専攻言語の廃止、学部学科長職の設置に伴う改正）

1　この学則は、2006年（平成18年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2005年（平成17年）度以前入学生は、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、「中国現地研究調査」及び「現地研究調査基礎」の授業科目の名称変更については、2004、2005年度入学生にも適用する。

附　則（学校教育法の一部改正、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部及び現代中国学部の収容定員の変更、編入学資格に関する条文の追加、各学部授業科目、単位数及び卒業要件の変更並びに文学部人文社会学科社会学専攻及び行動社会学専攻の調査実習費の徴収方法の変更に伴う改正）

1　この学則は、2007年（平成19年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2006年（平成18年）度以前入学生はなお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、第14条第１項別表文学部人文社会学科２専門教育科目のうち「臨床ケーススタディ（児童・少年期）」、「心理学特殊講義Ⅰ」及び「心理学特殊講義Ⅱ」の履修は、2005年（平成17年）度及び2006年（平成18年）度入学生にも適用する。また、文学部人文社会学科社会学専攻及び行動社会学専攻の調査実習費の徴収方法の変更及び現代中国学部現代中国学科２専門教育科目「日中企業研修」の履修は、2006年（平成18年）度入学生にも適用する。

附　則（学校教育法及び同施行規則の一部改正に伴う改正）

この学則は、2007年（平成19年）12月26日から施行する。

附　則（大学設置基準の一部改正に伴う改正）

この学則は、2008年（平成20年）４月１日から施行する。

附　則（入学検定料の改定に伴う改正）

この学則は、2008年（平成20年）８月26日から施行する。

附　則（文学部及び経営学部の授業科目の変更並びに教育職員の採用手続等の見直

しに伴う改正）

1　この学則は、2009年（平成21年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2008年（平成20年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（大学評議会における審議事項の明確化に伴う改正）

この学則は、2009年（平成21年）５月30日から施行する。

附　則（国際コミュニケーション学部の授業科目及び卒業要件の変更、教育職員免許法施行規則の改正による教職課程授業科目の見直し、カリキュラム変更による教職課程授業科目の新設、法学部法学科、経営学部経営学科、現代中国学部現代中国学科の教職課程授業科目の区分変更、大学評議会にかかわる審議事項の整理、学則の変更手続の明確化並びに字句整理に伴う改正）

1　この学則は2010年（平成22年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2009年（平成21年）度以前入学生は、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、第14条第１項別表国際コミュニケーション学部専門教育科目のうち「海外インターンシップ」の履修は、2007年（平成19年）度、2008年（平成20年）度、2009年（平成21年）度入学生にも適用する。

4　第２項の規定にかかわらず、第14条第１項別表法学部法学科専門教育科目及び経営学部専門教育科目及び現代中国学部現代中国学科専門教育科目のうち「外国史」については、2006年（平成18年）度入学生から適用する。

5　第２項の規定にかかわらず、第18条第３項別表教職に関する科目の授業科目表のうち「小中学校連携教育論Ⅰ～Ⅳ」については、2008年（平成20年）度入学生から適用する。

附　則（地域政策学部地域政策学科の設置、経済学部経済学科及び大学全体の学生定員の変更、各学部の学費改定、各学部の授業科目及び卒業要件等の変更、文学部の進級制度の導入、教職課程、司書・司書教諭、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目等の変更、文学部の外国語（中国語）の中高免許教科、外国語（ドイツ語）の中学免許教科、外国語（フランス語）の中学免許教科の廃止、学位名称の追加（学士（心理学））並びに字句整理に伴う改正）

1　この学則は2011年（平成23年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2010年（平成22年）度以前入学生については、なお従前の

例による。

附　則（文学部人文社会学科の学生定員の増加、メディア芸術専攻の新設及び授業科目の変更、経済学部経済学科の授業科目の変更、地域政策学部地域政策学科の授業科目の表記順序の変更、博物館法施行規則改正に伴う学芸員に関する専門教育科目及び履修要件の変更並びに字句整理に伴う改正）

（施行期日）

1　この学則は、2012年（平成24年）４月１日から施行する。

（経過措置）

2　前項の規定にかかわらず、2011年（平成23年）度以前入学生については、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、この学則による改正後の第14条第１項別表文学部人文社会学科２専門教育科目のうち「教育心理学」及び地域政策学部地域政策学科２専門教育科目の履修は、2011年（平成23年）度入学生より適用する。

附　則（教授会決議事項の追加に伴う改正）

この学則は、2012年（平成24年）９月27日から施行する。

附　則（国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科の学科名称及び授業科目の変更に伴う改正）

1　この学則は、2013年（平成25年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（文学部人文社会学科の教育研究上の目的の改訂、及び司書に関する専門教育科目の一部削除に伴う改正）

1　この学則は、2013年（平成25年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度以前入学生については、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、2012年（平成24年）度入学生については、「専門資料論」を必修科目としない。

附　則（愛知大学の理念・目的の見直しに伴う改正）

この学則は、2013年（平成25年）６月20日から施行する。

附　則（文学部人文社会学科の授業科目及び履修区分の変更に伴う改正）

1　この学則は、2014年（平成26年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2013年（平成25年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（現代中国学部ダブルディグリー・プログラム導入に伴う改正）

1　この学則は、2014年（平成26年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2013年（平成25年）度以前入学生については、なお従前の例による。

3　第２項の規定にかかわらず、現代中国学部ダブルディグリー・プログラム参加学生の修得単位の取扱については、2013年（平成25年）度入学生についても適用する。

附　則（学期の始期及び終期に関する規定の追加に伴う改正）

この学則は、2014年（平成26年）４月１日から施行する。

附　則（学校教育法の一部改正並びに現代中国学部の教育研究上の目的の見直し及び現地プログラムの多拠点化に伴う改正）

この学則は、2015年（平成27年）４月１日から施行する。

附　則（文学部人文社会学科英語圏文学専攻の現代国際英語専攻への再編統合等による授業科目及び卒業要件等の変更並びに学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更に伴う改正）

1　この学則は、2015年（平成27年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2014年（平成26年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（文学部人文社会学科社会学コース現代社会学専攻及び社会学コース行動社会学専攻の再編統合等による授業科目及び卒業要件等の変更、国際コミュニケーション学部英語学科のコース制導入及び授業科目の変更、地域政策学部地域政策学科の授業科目の表記順序及び授業科目の変更、文学部の外国語（ドイツ語）及び外国語（フランス語）の高校免許教科の廃止並びに学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更に伴う改正）

1　この学則は、2016年（平成28年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2015年（平成27年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（協定留学生の授業科目の明確化に伴う改正）

1　この学則は、2017年（平成29年）４月１日から施行する。

附　則（国際コミュニケーション学部比較文化学科の学科名称の変更、国際コミュ

ニケーション学部の授業科目及び卒業要件等の変更に伴う改正）

（施行期日）

1　この学則は、2018年（平成30年）４月１日から施行する。

（経過措置）

2　前項の規定にかかわらず、2014年（平成26年）度以前入学生については、なお従前の例による。

3　第１項の規定にかかわらず、2015年（平成27年）度から2017年（平成29年）度入学生については、第14条第１項別表及び第24条別表に関する限り、なお従前の例による。この場合、当該別表における学科名を比較文化学科から国際教養学科に読み替える。

4　第１項の規定にかかわらず、国際コミュニケーション学部比較文化学科は、2018年（平成30年）３月31日の時点で当該学科に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続する。

附　則（文学部心理学科の設置、文学部心理学科の授業科目及び卒業要件の新設、公認心理師法施行に伴う文学部心理学科の授業科目及び卒業要件の変更、文学部人文社会学科、経済学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部の授業科目並びに卒業要件等の変更、経営学部経営学科及び会計ファイナンス学科の教育研究上の目的の見直し、学芸員及び社会教育主事に関する授業科目の変更、教職に関する科目の新規開設及び削除に伴う改正）

1　この学則は、2018年（平成30年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2017年（平成29年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（学長補佐制度の新設に伴う改正）

この学則は、2018年（平成30年）９月27日から施行する。

附　則（休学期間中に外国の大学において修得した単位の取扱いを規定することに伴う改正）

この学則は、2018年（平成30年）11月１日から施行する。

附　則（教育職員免許法及び同施行規則の改正並びに教職課程再課程認定に係わる授業科目の見直し、文学部人文社会学科の授業科目の変更に伴う改正）

1　この学則は、2019年（平成31年）４月１日から施行する。

2　前項の規定にかかわらず、2018年（平成30年）度以前入学生については、なお従前の例による。

附　則（附属機関の明確化に伴う改正）

この学則は、2019年（平成31年）４月１日から施行する。

附　則（社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令の施行に伴う改正）

１　この学則は、2020年（令和２年）４月１日から施行する。

２　前項の規定にかかわらず、2018年（平成30年）度以前入学生については、なお従前の例による。

第14条第１項別表　文学部

人文社会学科に履修区分として現代文化（東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術）、社会学（社会学）、歴史・地理学（日本史学、世界史学、地理学）、日本語日本文学（日本語日本文学）、欧米言語文化（現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化）の各コース（各専攻）を置く。

心理学科に履修区分として心理学専攻を置く。

１　共通教育科目（各学科共通）

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Communicative English Ⅰ	1	
		Communicative English Ⅱ	1	
		Reading Ⅰ	1	
		TOEIC	1	
		Practical English Ⅰ	1	
		Practical English Ⅱ	1	
		Reading Ⅱ	1	
		Reading Ⅲ	1	
		Current English Ⅰ	2	
		Current English Ⅱ	2	
		Communication Skills Ⅰ	2	
		Communication Skills Ⅱ	2	
		Communication Skills Ⅲ	2	
		Communication Skills Ⅳ	2	
	中国語	入門中国語Ⅰ	1	
		入門中国語Ⅱ	1	
		基礎中国語Ⅰ	1	
		基礎中国語Ⅱ	1	
		応用中国語Ⅰ	1	
		応用中国語Ⅱ	1	
		総合中国語Ⅰ	1	
		総合中国語Ⅱ	1	
		中国語会話（初級）Ⅰ	1	
		中国語会話（初級）Ⅱ	1	
		中国語会話（中級）Ⅰ	1	
		中国語会話（中級）Ⅱ	1	

	コミュニケーション中国語ⅠA	2	
	コミュニケーション中国語ⅠB	2	
	コミュニケーション中国語ⅡA	2	
	コミュニケーション中国語ⅡB	2	
フランス語	入門フランス語Ⅰ	1	
	入門フランス語Ⅱ	1	
	基礎フランス語Ⅰ	1	
	基礎フランス語Ⅱ	1	
	応用フランス語Ⅰ	1	
	応用フランス語Ⅱ	1	
	総合フランス語Ⅰ	1	
	総合フランス語Ⅱ	1	
	フランス語会話（初級）Ⅰ	1	
	フランス語会話（初級）Ⅱ	1	
	フランス語会話（中級）Ⅰ	1	
	フランス語会話（中級）Ⅱ	1	
	コミュニケーションフランス語ⅠA	2	
	コミュニケーションフランス語ⅠB	2	
	コミュニケーションフランス語ⅡA	2	
	コミュニケーションフランス語ⅡB	2	
ドイツ語	入門ドイツ語Ⅰ	1	
	入門ドイツ語Ⅱ	1	
	基礎ドイツ語Ⅰ	1	
	基礎ドイツ語Ⅱ	1	
	応用ドイツ語Ⅰ	1	
	応用ドイツ語Ⅱ	1	
	総合ドイツ語Ⅰ	1	
	総合ドイツ語Ⅱ	1	
	ドイツ語会話（初級）Ⅰ	1	
	ドイツ語会話（初級）Ⅱ	1	
	ドイツ語会話（中級）Ⅰ	1	
	ドイツ語会話（中級）Ⅱ	1	

ロシア語	入門ロシア語Ⅰ	1	
	入門ロシア語Ⅱ	1	
	基礎ロシア語Ⅰ	1	
	基礎ロシア語Ⅱ	1	
	応用ロシア語Ⅰ	1	
	応用ロシア語Ⅱ	1	
	総合ロシア語Ⅰ	1	
	総合ロシア語Ⅱ	1	
韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
	応用韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	応用韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
	総合韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	総合韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1	
	入門ポルトガル語Ⅱ	1	
	基礎ポルトガル語Ⅰ	1	
	基礎ポルトガル語Ⅱ	1	
日本語	日本語・表現Ⅰ	1	外国人留学生履修科目
	日本語・表現Ⅱ	1	
	日本語・論文技術（基礎）Ⅰ	1	
	日本語・論文技術（基礎）Ⅱ	1	
	日本語・総合Ⅰ	1	
	日本語・総合Ⅱ	1	
	日本語・論文技術（応用）Ⅰ	1	
	日本語・論文技術（応用）Ⅱ	1	
	アカデミック日本語Ⅰ	2	
	アカデミック日本語Ⅱ	2	
	ビジネス日本語Ⅰ	2	
	ビジネス日本語Ⅱ	2	

	外国理解	世界の言語Ⅰ	2	
		世界の言語Ⅱ	2	
		ラテン語Ⅰ	2	
		ラテン語Ⅱ	2	
		ギリシャ語Ⅰ	2	
		ギリシャ語Ⅱ	2	
		海外セミナーⅠ	2	海外短期語学セミナー学修成果認定科目
		海外セミナーⅡ	2	
		海外セミナーⅢ	2	
		海外セミナーⅣ	2	
		外国理解Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
		外国理解Ⅱ	2	
		外国理解Ⅲ	2	
		外国理解Ⅳ	2	
	数理・情報分野	教養数学	2	
		数理科学	2	
		確率入門	2	
		統計入門	2	
		情報倫理	2	
		マルチメディア表現	2	
		ネットワーク演習	2	
		社会データ分析入門	2	
		プログラミング	2	
		情報の科学	2	
		情報と社会	2	
		情報総合演習	2	
	自然分野	物質の科学	2	
		地球の科学	2	
		宇宙の科学	2	
		生命の科学	2	
		環境の科学	2	
		科学技術史	2	
		現代技術と社会	2	

	地球環境問題	2	
	自然環境と地理	2	
	動物行動学	2	
	健康科学	2	
	スポーツ工学	2	
	トレーニング科学	2	
社会分野	歴史学	2	
	考古学	2	
	地理学	2	
	社会学	2	
	政治学	2	
	経済学	2	
	法学	2	
	経営学	2	
	憲法学	2	
	レクリエーション論	2	
	ジェンダー論	2	
人文分野	哲学	2	
	論理学	2	
	宗教学	2	
	心理学	2	
	文化人類学	2	
	現代の思想	2	
	民俗学	2	
	スポーツ文化論	2	
	日本事情Ⅰ	2	外国人留学生履修科目
	日本事情Ⅱ	2	
	文学	2	
	日本語学	2	
	古典の世界	2	
	言語と文化	2	
	芸術論	2	

総合	総合科目	2	
	総合演習	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

（1）　人文社会学科

授業科目		単位数	備考
必修 学部	文学部総合研究	2	
	卒業論文	8	
学部選択必修	入門講義（現代文化）	2	
	入門講義（社会学）	2	
	入門講義（心理学）	2	
	入門講義（歴史・地理学）	2	
	入門講義（日本語日本文学）	2	
	入門講義（欧米言語文化）	2	
	入門演習（現代文化）	2	
	入門演習（社会学）	2	
	入門演習（心理学）	2	
	入門演習（歴史・地理学）	2	
	入門演習（日本語日本文学）	2	
	入門演習（欧米言語文化）	2	
現代文化コース必修	現代文化基礎演習	2	
	現代文化基礎論	2	
	表現実習	2	
	現代文化演習Ⅰ	2	
	現代文化演習Ⅱ	2	
	現代文化演習Ⅲ	2	
	現代文化演習Ⅳ	2	
	東アジア文化総論	2	
	東アジア文化各論	2	
	西洋近代哲学史	2	
	西洋現代哲学史	2	
	図書館情報学概論Ⅰ	2	
	図書館情報学概論Ⅱ	2	
	メディア芸術概論Ⅰ	2	
	メディア芸術概論Ⅱ	2	
	現代文化論	2	

現代文化コース選択	東アジア文化専攻必修	東アジア文化基礎演習Ⅰ	2	
		東アジア文化基礎演習Ⅱ	2	
		東アジア文化講読Ⅰ	2	
		東アジア文化講読Ⅱ	2	
		東アジア文化講読Ⅲ	2	
		東アジア文化講読Ⅳ	2	
	哲学専攻必修	哲学基礎演習	2	
		ドイツ哲学講読A	2	
		フランス哲学講読A	2	
		ギリシア哲学講読A	2	
		ドイツ哲学講読B	2	
		フランス哲学講読B	2	
		ギリシア哲学講読B	2	
		ドイツ哲学講読C	2	
		フランス哲学講読C	2	
		ギリシア哲学講読C	2	
		ドイツ哲学講読D	2	
		フランス哲学講読D	2	
		ギリシア哲学講読D	2	
		哲学概説Ⅰ	2	
		哲学概説Ⅱ	2	
	図書館情報学専攻必修	図書館情報サービスA	2	
		図書館情報サービスB	2	
		調査検索実習	2	
		図書館情報資源論	2	
		図書館情報学講読Ⅰ	2	
		図書館情報学講読Ⅱ	2	
		情報処理A	2	
		情報処理B	2	
		専門情報A	2	
		専門情報B	2	
		情報資源各論A	2	

		情報資源各論B	2	
	メディア芸術専攻必修	メディア芸術基礎研究法	2	
		メディア芸術批評実習Ⅰ	2	
		メディア芸術基礎実習Ⅰ	2	
		マルチメディア制作実習Ⅰ	2	
		情報デザイン論実習Ⅰ	2	
		メディア芸術批評実習Ⅱ	2	
		メディア芸術基礎実習Ⅱ	2	
		マルチメディア制作実習Ⅱ	2	
		情報デザイン論実習Ⅱ	2	
	現代文化コース共通選択	中国思想Ⅰ	2	
		中国思想Ⅱ	2	
		日本思想Ⅰ	2	
		日本思想Ⅱ	2	
		インド思想Ⅰ	2	
		インド思想Ⅱ	2	
		中国文学Ⅰ	2	
		中国文学Ⅱ	2	
		文化交流史Ⅰ	2	
		文化交流史Ⅱ	2	
		漢文学Ⅰ	2	
		漢文学Ⅱ	2	
		書画論Ⅰ	2	
		書画論Ⅱ	2	
		書道Ⅰ	2	
		書道Ⅱ	2	
		倫理学概論	2	
		応用倫理学概論	2	
		哲学特殊講義A	2	
		哲学特殊講義B	2	
		宗教学概論	2	
		宗教思想史	2	

		情報政策	2	
		メディア史	2	
		情報組織化A	2	
		情報組織化B	2	
		知識組織法A	2	
		知識組織法B	2	
		書誌学	2	
		専門コミュニケーション	2	
		知的財産権	2	
		アーツマネジメント基礎論	2	
		メディア芸術特殊実習	2	
		芸術文化論	2	
		メディア芸術特殊講義	2	
		芸術史	2	
		演劇論	2	
		映画論	2	
		美学概論Ⅰ	2	
		美学概論Ⅱ	2	
		現代文化特殊研究Ⅰ	2	
		現代文化特殊研究Ⅱ	2	
		児童サービス論	2	
		文化情報・メディア論	2	
		生涯学習概論Ⅰ	2	
		生涯学習概論Ⅱ	2	
		教育方法論	2	
		国語科教育法	2	
		国語科指導法Ⅰ	2	
		国語科指導法Ⅱ	2	
		社会科・地歴科教育法	2	
		社会科・公民科教育法	2	
		社会科教育法	2	

社会学コース必修		社会学概論	2	
		社会調査法Ⅰ	2	
		社会調査法Ⅱ	2	
		社会調査実習	4	
		社会学演習Ⅰ	2	
		社会学演習Ⅱ	2	
		社会学演習Ⅲ	2	
		社会学演習Ⅳ	2	
社会学コース選択	社会学専攻必修	地域社会学	2	
		福祉社会学	2	
		情報社会学	2	
		家族社会学	2	
		社会心理学	2	
		社会調査法Ⅲ	2	
		質的調査法	2	
	社会学コース共通選択	教育社会学	2	
		環境社会学	2	
		産業社会学	2	
		政治社会学	2	
		市民参加論	2	
		コミュニケーション論	2	
		社会人類学	2	
		キャリア発達論	2	
		自己論	2	
		精神分析学	2	
		逸脱の社会学	2	
		ジェンダー・セクシュアリティ論	2	
		宗教社会学	2	
		ソーシャルネットワーク論	2	
		都市社会論	2	
		現代社会論	2	

		集団・組織論	2	
		共生社会論	2	
		メディア社会論	2	
		カルチュラル・スタディーズ（文化研究）	2	
		ライフコースの社会学	2	
		社会問題論	2	
		日本民俗学	2	
		応用倫理学概論	2	
		社会教育計画Ⅰ	2	
		社会教育計画Ⅱ	2	
		教育方法論	2	
		社会科・地歴科教育法	2	
		社会科・公民科教育法	2	
		社会科教育法	2	
歴史・地理学コース必修		歴史・地理学演習Ⅰ	2	
		歴史・地理学演習Ⅱ	2	
		歴史・地理学演習Ⅲ	2	
		歴史・地理学演習Ⅳ	2	
		歴史・地理学特殊講義A	2	
		歴史・地理学特殊講義B	2	
		歴史・地理学特殊講義C	2	
		歴史・地理学特殊講義D	2	
		歴史・地理学特殊講義E	2	
		歴史・地理学特殊講義F	2	
		歴史・地理学特殊講義G	2	
		歴史・地理学特殊講義H	2	
歴史・地理学コース選択	日本史学専攻必修	日本史学基礎講読A	2	
		日本史学基礎講読B	2	
		日本史学講読	2	
		日本史学基礎演習Ⅰ	2	
		日本史学基礎演習Ⅱ	2	

	世界史学専攻必修	世界史学基礎講読Ⅰ	2	
		世界史学基礎講読Ⅱ	2	
		世界史学講読Ⅰ	2	
		世界史学講読Ⅱ	2	
		世界史学基礎演習Ⅰ	2	
		世界史学基礎演習Ⅱ	2	
	地理学専攻必修	地理学基礎実習Ⅰ	2	
		地理学基礎実習Ⅱ	2	
		地理学講読	2	
		地理学フィールドワーク実習	2	
		地域分析	2	
		地図学	2	
		地球環境科学	2	
	歴史・地理学コース共通選択	歴史学概説	2	
		歴史学史	2	
		外国考古学Ⅰ	2	
		外国考古学Ⅱ	2	
		歴史地理学	2	
		地理学概説	2	
		日本史史料学	2	
		日本考古学Ⅰ	2	
		日本考古学Ⅱ	2	
		日本文化史Ⅰ	2	
		日本文化史Ⅱ	2	
		日本民俗学	2	
		ヨーロッパ文明史Ⅰ	2	
		ヨーロッパ文明史Ⅱ	2	
		芸術史	2	
		西洋近代哲学史	2	
		西洋現代哲学史	2	
		英米事情	2	
		欧米文学史概論	2	

		ドイツ事情	2	
		ドイツ語圏文化概論	2	
		ドイツ語圏近・現代史	2	
		フランス事情	2	
		フランス文化論	2	
		北米・中米フランス語圏の文化	2	
		アフリカフランス語圏の文化	2	
		東アジア文化総論	2	
		東アジア文化各論	2	
		文化交流史Ⅰ	2	
		文化交流史Ⅱ	2	
		中国思想Ⅰ	2	
		中国思想Ⅱ	2	
		インド思想Ⅰ	2	
		インド思想Ⅱ	2	
		漢文学Ⅰ	2	
		漢文学Ⅱ	2	
		カルチュラル・スタディーズ（文化研究）	2	
		ジェンダー・セクシュアリティ論	2	
		共生社会論	2	
		社会人類学	2	
		博物館概論	2	
		教育方法論	2	
		社会科・地歴科教育法	2	
		社会科・公民科教育法	2	
		社会科教育法	2	
日本語日本文学コース必修		日本古典文学基礎演習	2	
		日本近代文学基礎演習	2	
		日本語学基礎演習	2	
		日本語日本文学演習Ⅰ	2	
		日本語日本文学演習Ⅱ	2	
		日本語日本文学演習Ⅲ	2	

		日本語日本文学演習Ⅳ	2	
		日本古典文学概論	2	
		日本近代文学概論	2	
		日本語学概論	2	
日本語日本文学コース選択	日本語日本文学専攻必修	日本古典文学史	2	
		日本近代文学史	2	
		日本語史	2	
		日本古典文学講読Ⅰ	2	
		日本近代文学講読Ⅰ	2	
		日本語学講読Ⅰ	2	
		日本古典文学講読Ⅱ	2	
		日本近代文学講読Ⅱ	2	
		日本語学講読Ⅱ	2	
		日本古典文学特殊講義	2	
		日本近代文学特殊講義	2	
		日本語学特殊講義	2	
		日本語文法論	2	
	日本語日本文学コース共通選択	古典文学資料読解	2	
		漢字文化論	2	
		日本近代文学Ⅰ	2	
		日本近代文学Ⅱ	2	
		日本語教育研究Ⅰ	2	
		日本語教育研究Ⅱ	2	
		児童文学	2	
		漢文学Ⅰ	2	
		漢文学Ⅱ	2	
		教育方法論	2	
		国語科教育法	2	
		国語科指導法Ⅰ	2	
		国語科指導法Ⅱ	2	

欧米言語文化コース必修		欧米言語芸術概論	2	
		言語学概論	2	
		欧米文学史概論	2	
		欧米言語文化演習Ⅰ	2	
		欧米言語文化演習Ⅱ	2	
		欧米言語文化演習Ⅲ	2	
		欧米言語文化演習Ⅳ	2	
欧米言語文化コース選択	現代国際英語専攻必修	Essential Grammar	2	
		Basic Composition	2	
		Academic Writing Ⅰ	2	
		Academic Writing Ⅱ	2	
		英米文化研究Ⅰ概論	2	
		English Linguistics 概論	2	
		Contemporary International English 概論	2	
		英米文化研究Ⅰ基礎演習	2	
		English Communication 基礎演習	2	
		Cont. International English 基礎演習	2	
		Oral Comprehension(英会話初級)	2	
		Oral Strategies(英会話初級)	2	
	ドイツ語圏文化専攻必修	ドイツ語基礎演習Ⅰ	2	
		ドイツ語基礎演習Ⅱ	2	
		ドイツ語圏文化講読Ⅰ	2	
		ドイツ語圏文化講読Ⅱ	2	
		ドイツ語圏文化講読Ⅲ	2	
		ドイツ語圏文化講読Ⅳ	2	
		ドイツ文学鑑賞Ⅰ	2	
		ドイツ文学鑑賞Ⅱ	2	
		ドイツ語圏文化概論	2	
		ドイツ語学概論	2	

	フランス語圏文化専攻必修	フランス語基礎演習A	2	
		フランス語基礎演習B	2	
		フランス語基礎演習C	2	
		フランス語基礎演習D	2	
		フランス語圏文化講読Ⅰ	2	
		フランス語圏文化講読Ⅱ	2	
		フランス語圏文学史Ⅰ	2	
		フランス語圏文学史Ⅱ	2	
		フランス語学概論Ⅰ	2	
		フランス語学概論Ⅱ	2	
	欧米言語文化コース共通選択	Current Issues Ⅰ(英会話中級)	2	
		Current Issues Ⅱ(英会話中級)	2	
		Current Issues Ⅲ(英会話上級)	2	
		Current Issues Ⅳ(英会話上級)	2	
		英米文化研究Ⅱ概論	2	
		英米文化研究Ⅱ基礎演習	2	
		Preparation for TOEIC・TOEFL	2	
		Listening Strategies	2	
		New Media English	2	
		Principles of FLT	2	
		ドイツ語圏近・現代史	2	
		ドイツ文学史	2	
		ヨーロッパ文明史Ⅰ	2	
		ヨーロッパ文明史Ⅱ	2	
		ドイツ事情	2	
		外国語としてのドイツ語	2	
		ドイツ哲学講読A	2	
		ドイツ哲学講読B	2	
		ドイツ哲学講読C	2	
		ドイツ哲学講読D	2	
		フランス事情	2	
		フランス文化論	2	

	北米・中米フランス語圏の文化	2	
	アフリカフランス語圏の文化	2	
	エクリチュールⅠ	2	
	エクリチュールⅡ	2	
	芸術史	2	
	フランス哲学講読A	2	
	フランス哲学講読B	2	
	フランス哲学講読C	2	
	フランス哲学講読D	2	
	英米事情	2	
	教育方法論	2	
	英語科教育法	2	
	英語科指導法Ⅰ	2	
	英語科指導法Ⅱ	2	
隣接・関連科目	GIS概論	2	
	まちづくりとデータ分析	2	
	地域資源論	2	
	英米の地域と文化	2	
	多文化共生論	2	
教職課程科目	日本史	2	※
	外国史	2	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。

（1） 外国語分野　必修外国語として第１外国語８単位、第２外国語６単位、計２ヵ国語14単位

（2） 数理・情報分野２単位、自然、社会、人文分野各４単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位

（3） 体育分野　２単位

2　専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

（1） 東アジア文化専攻

イ	学部必修	10単位（卒業論文８単位を含む。）
ロ	学部選択必修	入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上
ハ	コース必修	22単位
ニ	コース選択	24単位以上
ホ	学部選択必修 コース選択 他コース科目 心理学科科目	の中から２単位以上

（2） 哲学専攻

イ	学部必修	10単位（卒業論文８単位を含む。）
ロ	学部選択必修	入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上
ハ	コース必修	22単位
ニ	コース選択	24単位以上
ホ	学部選択必修 コース選択 他コース科目 心理学科科目	の中から２単位以上

（3） 図書館情報学専攻

イ	学部必修	10単位（卒業論文８単位を含む。）
ロ	学部選択必修	入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上
ハ	コース必修	22単位
ニ	コース選択	24単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から２単位以上

（４）　メディア芸術専攻

イ　学部必修　10単位(卒業論文８単位を含む。)

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　22単位

ニ　コース選択　24単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から２単位以上

（５）　社会学専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　18単位

ニ　コース選択　14単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から16単位以上

（６）　日本史学専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　16単位

ニ　コース選択　14単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から18単位以上

（７） 世界史学専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　16単位

ニ　コース選択　26単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から６単位以上

（８） 地理学専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　16単位

ニ　コース選択　28単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から４単位以上

（９） 日本語日本文学専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　20単位

ニ　コース選択　24単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　｝の中から４単位以上

(10) 現代国際英語専攻

イ　学部必修　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上

ハ　コース必修　14単位

ニ　コース選択　30単位以上

ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　　の中から４単位以上

(11)　ドイツ語圏文化専攻

イ　学部必修　　10単位（卒業論文８単位を含む。）
ロ　学部選択必修　　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上
ハ　コース必修　　14単位
ニ　コース選択　　30単位以上
ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　　の中から４単位以上

(12)　フランス語圏文化専攻

イ　学部必修　　10単位（卒業論文８単位を含む。）
ロ　学部選択必修　　入門講義及び入門演習各２単位を含む４単位以上
ハ　コース必修　　14単位
ニ　コース選択　　30単位以上
ホ　学部選択必修
　　コース選択
　　他コース科目
　　心理学科科目　　の中から４単位以上

３　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。

４　その他授業科目の履修については、別に定める。

５　教職課程として指定する授業科目（※印）は、卒業要件に含めない。

備考

１　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

２　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところ

により、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

（2） 心理学科

授業科目		単位数	備考
必学修部	文学部総合研究	2	
	卒業論文	8	
学部選択必修	入門講義（現代文化）	2	
	入門講義（社会学）	2	
	入門講義（心理学）	2	
	入門講義（歴史・地理学）	2	
	入門講義（日本語日本文学）	2	
	入門講義（欧米言語文化）	2	
	入門演習（現代文化）	2	
	入門演習（社会学）	2	
	入門演習（心理学）	2	
	入門演習（歴史・地理学）	2	
	入門演習（日本語日本文学）	2	
	入門演習（欧米言語文化）	2	
学科必修	心理学概論	2	
	心理学実験Ⅰ	2	
	心理学実験Ⅱ	2	
	心理的アセスメント	2	
	心理学統計法	2	
	心理学研究法	2	
	心理演習Ⅰ	2	
	心理演習Ⅱ	2	
	心理演習Ⅲ	2	
	心理演習Ⅳ	2	
学科選択	知覚・認知心理学	2	
	学習・言語心理学	2	
	比較心理学	2	
	臨床心理学概論	2	
	発達心理学	2	

	健康・医療心理学	2	
	人体の構造と機能及び疾病	2	
	教育・学校心理学	2	
	産業・組織心理学	2	
	認知科学	2	
	障害者・障害児心理学	2	
	行動療法	2	
	社会・集団・家族心理学	2	
	感情・人格心理学	2	
	神経・生理心理学	2	
	心理学的支援法	2	
	心理技術実習	1	
	福祉心理学	2	
	司法・犯罪心理学	2	
	精神疾患とその治療	2	
	公認心理師の職責	2	
	関係行政論	2	
	心理実習	2	
隣接・関連科目	ＧＩＳ概論	2	
	まちづくりとデータ分析	2	
	地域資源論	2	
	英米の地域と文化	2	
	多文化共生論	2	

卒業要件

１　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。

（１）　外国語分野　必修外国語として第１外国語８単位、第２外国語６単位、計２ヵ国語14単位

（２）　数理・情報分野２単位、自然、社会、人文分野各４単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位

（３）　体育分野　２単位

２　専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。

（１）　心理学専攻

イ　学部必修　　10単位（卒業論文８単位を含む。）

ロ　学部選択必修　　入門講義（心理学）及び入門演習（心理学）各２単位を含む４単位以上

ハ　学科必修　　20単位以上

ニ　学科選択　　24単位以上

ホ　学部選択必修
学科必修
学科選択
人文社会学科科目　　の中から４単位以上

３　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。

４　その他授業科目の履修については、別に定める。

備考

１　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

２　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　経済学部　経済学科

１　共通教育科目

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅲ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅳ	1	
		Ｐｒａｃｔｉｃａｌ　Ｅｎｇｌｉｓｈ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅱ	2	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅲ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅰ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅲ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅳ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅰ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅱ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅲ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅳ	2	
	ドイツ語	ドイツ語入門　Ⅰ	1	
		ドイツ語入門　Ⅱ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅰ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅱ	1	
		ドイツ語応用　Ⅰ	2	
		ドイツ語応用　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅰ	2	
		ドイツ語演習　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅲ	2	

		ドイツ語演習Ⅳ	2	
		ドイツ語演習Ⅴ	2	
		ドイツ語演習Ⅵ	2	
	フランス語	フランス語入門Ⅰ	1	
		フランス語入門Ⅱ	1	
		フランス語基礎Ⅰ	1	
		フランス語基礎Ⅱ	1	
		フランス語応用Ⅰ	2	
		フランス語応用Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅰ	2	
		フランス語演習Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅲ	2	
		フランス語演習Ⅳ	2	
		フランス語演習Ⅴ	2	
		フランス語演習Ⅵ	2	
	中国語	中国語入門Ⅰ	1	
		中国語入門Ⅱ	1	
		中国語基礎Ⅰ	1	
		中国語基礎Ⅱ	1	
		中国語応用Ⅰ	2	
		中国語応用Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅰ	2	
		中国語演習Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅲ	2	
		中国語演習Ⅳ	2	
		中国語演習Ⅴ	2	
		中国語演習Ⅵ	2	
	韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2	

	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅴ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅵ	2	
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1	
	ロシア語入門Ⅱ	1	
	ロシア語基礎Ⅰ	1	
	ロシア語基礎Ⅱ	1	
	ロシア語応用Ⅰ	2	
	ロシア語応用Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅰ	2	
	ロシア語演習Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅲ	2	
	ロシア語演習Ⅳ	2	
	ロシア語演習Ⅴ	2	
	ロシア語演習Ⅵ	2	
タイ語	タイ語入門Ⅰ	1	
	タイ語入門Ⅱ	1	
	タイ語基礎Ⅰ	1	
	タイ語基礎Ⅱ	1	
	タイ語応用Ⅰ	2	
	タイ語応用Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅰ	2	
	タイ語演習Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅲ	2	
	タイ語演習Ⅳ	2	
	タイ語演習Ⅴ	2	
	タイ語演習Ⅵ	2	
日本語	日本語Ⅰ	1	）
	日本語Ⅱ	1	
	日本語Ⅲ	1	
	日本語Ⅳ	1	
	日本語Ⅴ	1	
	日本語Ⅵ	1	
	日本語Ⅶ	1	

		日本語Ⅷ	1	外国人留学生履修科目
		専門日本語Ⅰ	2	
		専門日本語Ⅱ	2	
		ビジネス日本語Ⅰ	2	
		ビジネス日本語Ⅱ	2	
		日本事情Ⅰ	2	
		日本事情Ⅱ	2	
	その他	海外セミナーⅠ	2	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
		海外セミナーⅡ	2	
		海外セミナーⅢ	2	
		海外セミナーⅣ	2	
		外国理解Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
		外国理解Ⅱ	2	
		外国理解Ⅲ	2	
		外国理解Ⅳ	2	
数理・情報分野		数理科学入門	2	
		数理科学基礎	2	
		確率論入門	2	
		確率論基礎	2	
		プレゼンテーション技術	2	
		マルチメディア表現法	2	
		情報倫理	2	
		社会データ分析入門	2	
		情報の科学	2	
		情報と社会	2	
		コンピュータ科学の基礎	2	
		プログラミング	2	
		情報リテラシー・入門	1	
		情報リテラシー・応用	1	
自然分野		科学と社会	2	
		宇宙の科学	2	
		地球の科学	2	
		物質の科学	2	
		エネルギーと社会	2	
		環境の科学	2	

	環境と都市	2	
	生命の科学	2	
	生物コミュニケーション	2	
	健康と運動の科学	2	
	健康と栄養	2	
	スポーツの科学	2	
社会分野	憲法学入門	2	
	法学入門	2	
	政治学入門	2	
	経済学入門	2	
	国際関係論	2	
	社会学入門	2	
	現代社会論	2	
	社会思想史	2	
	歴史学入門	2	
	経営学入門	2	
人文分野	哲学	2	
	現代の思想	2	
	言語と人間	2	
	民族と文化	2	
	民族と国家	2	
	社会と宗教	2	
	心理学	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	倫理学通論	2	
	文学と人間（東洋）	2	
	文学と人間（西洋）	2	
	美術と人間	2	
	映画と人間	2	
	音楽と人間	2	
	演劇と人間	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	
	総合演習Ⅲ	2	

	総合演習Ⅳ	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
	日本理解Ⅰ	2	
	日本理解Ⅱ	2	
	日本発信基礎	2	
	日本発信応用	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

授業科目		単位数	備考
基礎科目	経済学への招待	2	
	マクロ経済学入門	2	
	ミクロ経済学入門	2	
	経済数学入門	2	
	統計学入門	2	
	日本経済入門	2	
	経済史入門	2	
	世界経済入門	2	
学部共通科目	マクロ経済学	2	
	ミクロ経済学	2	
	統計学Ⅰ	2	
	経済統計論Ⅰ	2	
	計量経済学Ⅰ	2	
	経済データ分析	2	
	金融論Ⅰ	2	
	財政学Ⅰ	2	
	経済政策Ⅰ	2	
	公共経済学Ⅰ	2	
	社会保障論	2	
	日本経済論Ⅰ	2	
	地域経済論	2	
	日本経済史Ⅰ	2	
	経済原論	2	
	経済学史Ⅰ	2	
	国際経済学Ⅰ	2	
	国際開発論	2	
	西洋経済史Ⅰ	2	
	Ｅｃｏｎｏｍｉｃｓ	2	
	経済英語Ⅰ	2	
	経済英語Ⅱ	2	
	外国書講読	2	
	経済学特殊講義	2	

経済分析	上級マクロ経済学	2	
	上級ミクロ経済学	2	
	経済数学	2	
	統計学Ⅱ	2	
	経済統計論Ⅱ	2	
	計量経済学Ⅱ	2	
	経済予測論	2	
	金融論Ⅱ	2	
	金融システム論	2	
	貨幣信用論	2	
	資本主義経済論	2	
	公共経済学Ⅱ	2	
	行動経済学	2	
	産業組織論	2	
	ネットワーク経済論	2	
	経済分析特殊講義	2	
政策・地域	財政学Ⅱ	2	
	経済政策Ⅱ	2	
	日本経済論Ⅱ	2	
	経済学史Ⅱ	2	
	日本経済史Ⅱ	2	
	労働経済学	2	
	社会政策	2	
	環境経済学	2	
	環境・エネルギー政策論	2	
	地方財政学	2	
	地域政策論	2	
	農業経済論	2	
	流通経済論	2	
	中小企業論	2	
	都市経済論	2	
	政策・地域特殊講義	2	
世界経済	国際経済学Ⅱ	2	
	西洋経済史Ⅱ	2	
	国際金融論	2	

	国際金融市場論	2	
	国際経済政策	2	
	国際政治経済学	2	
	多国籍企業論	2	
	開発経済論	2	
	アメリカ経済論	2	
	ヨーロッパ経済論	2	
	中国経済論	2	
	韓国経済論	2	
	アジア太平洋経済論	2	
	アジア比較経済論	2	
	国際産業論	2	
	グローバル自動車産業論	2	
	世界経済特殊講義	2	
隣接・関連分野	経営学	2	
	情報システム構築論Ⅰ	2	
	情報システム構築論Ⅱ	2	
	総合マルチメディア論	2	
	観光論	2	
	社会思想史	2	
	経営財務論	2	
	憲法・基本的人権Ⅰ	2	
	憲法・基本的人権Ⅱ	2	
	憲法・統治機構Ⅰ	2	
	憲法・統治機構Ⅱ	2	
	行政法総論Ⅰ	2	
	行政法総論Ⅱ	2	
	刑法総論Ⅰ	2	
	刑法総論Ⅱ	2	
	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	契約法Ⅰ	2	
	契約法Ⅱ	2	
	企業取引法	2	
	会社法Ⅰ	2	

	会社法Ⅱ	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	経済法Ⅰ	2	
	経済法Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	
	基礎簿記論	2	
	応用簿記論	2	
	ファイナンス論	2	
	税法入門	2	
	税務会計基礎理論	2	
	税務会計応用理論	2	
	マーケティング論	2	
	消費者行動論Ⅰ	2	
キャリアスキル	フィールドスタディ方法論	2	
	フィールドスタディ	2	
	インターンシップ	2	
	ボランティア	2	
	ウェブデザイン論	2	
	ＥＲＥ（経済学検定試験）	2	
	ＥＲＥ上級(経済学検定試験)	2	
	特別講義	2	
	外国事情Ⅰ	2	
	外国事情Ⅱ	2	
	外国事情Ⅲ	2	
	外国事情Ⅳ	2	
演習系科目	入門演習	2	
	基礎演習	2	
	専門演習Ⅰ	4	
	専門演習Ⅱ	4	
	卒業研究	4	
教職課程科目	教育方法論	2	
	社会科・地歴科教育法	2	
	社会科・公民科教育法	2	
	社会科教育法	2	

	商業科教育法Ⅰ	2	
	職業指導	1	※
	日本史	1	※
	外国史	1	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※
	哲学・倫理学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計36単位以上を修得しなければならない。

（1）　外国語分野　必修外国語として第１外国語６単位、第２外国語４単位、計２ヵ国語10単位

（2）　数理・情報、自然、社会、人文分野各４単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位

（3）　体育分野　２単位

2　専門教育科目は、次の定めるところにより、合計74単位以上を修得しなければならない。

領域 ＼ コース	経済分析コース	政策・地域コース	世界経済コース
基礎科目	12単位以上	12単位以上	12単位以上
学部共通科目	24単位以上	24単位以上	24単位以上
経済分析	８単位以上	世界経済と合わせて８単位以上	政策・地域と合わせて８単位以上
政策・地域	世界経済と合わせて８単位以上	８単位以上	経済分析と合わせて８単位以上
世界経済	政策・地域と合わせて８単位以上	経済分析と合わせて８単位以上	８単位以上
隣接・関連分野	―	―	―
キャリアスキル	―	―	―
演習系科目	―	―	―
合　計	74単位以上	74単位以上	74単位以上

3　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から14単位以上を修得しなければならない。

4　その他授業科目の履修については、別に定める。

5　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

1　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

2　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　国際コミュニケーション学部

１　共通教育科目(各学科共通)

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅲ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅳ	1	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｖｅ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	1	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｖｅ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	1	
		Ｐｒａｃｔｉｃａｌ　Ｅｎｇｌｉｓｈ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅱ	2	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅲ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅰ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅲ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅳ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅰ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅱ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅲ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅳ	2	
	ドイツ語	ドイツ語入門　Ⅰ	1	
		ドイツ語入門　Ⅱ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅰ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅱ	1	
		ドイツ語応用　Ⅰ	2	
		ドイツ語応用　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅰ	2	

		ドイツ語演習Ⅱ	2	
		ドイツ語演習Ⅲ	2	
		ドイツ語演習Ⅳ	2	
		ドイツ語演習Ⅴ	2	
		ドイツ語演習Ⅵ	2	
	フランス語	フランス語入門Ⅰ	1	
		フランス語入門Ⅱ	1	
		フランス語基礎Ⅰ	1	
		フランス語基礎Ⅱ	1	
		フランス語応用Ⅰ	2	
		フランス語応用Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅰ	2	
		フランス語演習Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅲ	2	
		フランス語演習Ⅳ	2	
		フランス語演習Ⅴ	2	
		フランス語演習Ⅵ	2	
	中国語	中国語入門Ⅰ	1	
		中国語入門Ⅱ	1	
		中国語基礎Ⅰ	1	
		中国語基礎Ⅱ	1	
		中国語応用Ⅰ	2	
		中国語応用Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅰ	2	
		中国語演習Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅲ	2	
		中国語演習Ⅳ	2	
		中国語演習Ⅴ	2	
		中国語演習Ⅵ	2	
	韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1	

		韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅴ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅵ	2	
	ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1	
		ロシア語入門Ⅱ	1	
		ロシア語基礎Ⅰ	1	
		ロシア語基礎Ⅱ	1	
		ロシア語応用Ⅰ	2	
		ロシア語応用Ⅱ	2	
		ロシア語演習Ⅰ	2	
		ロシア語演習Ⅱ	2	
		ロシア語演習Ⅲ	2	
		ロシア語演習Ⅳ	2	
		ロシア語演習Ⅴ	2	
		ロシア語演習Ⅵ	2	
	タイ語	タイ語入門Ⅰ	1	
		タイ語入門Ⅱ	1	
		タイ語基礎Ⅰ	1	
		タイ語基礎Ⅱ	1	
		タイ語応用Ⅰ	2	
		タイ語応用Ⅱ	2	
		タイ語演習Ⅰ	2	
		タイ語演習Ⅱ	2	
		タイ語演習Ⅲ	2	
		タイ語演習Ⅳ	2	
		タイ語演習Ⅴ	2	
		タイ語演習Ⅵ	2	

	日本語	日本語Ⅰ	1	外国人留学生履修科目
		日本語Ⅱ	1	
		日本語Ⅲ	1	
		日本語Ⅳ	1	
		日本語Ⅴ	1	
		日本語Ⅵ	1	
		日本語Ⅶ	1	
		日本語Ⅷ	1	
		専門日本語Ⅰ	2	
		専門日本語Ⅱ	2	
		ビジネス日本語Ⅰ	2	
		ビジネス日本語Ⅱ	2	
		日本事情Ⅰ	2	
		日本事情Ⅱ	2	
	その他	海外セミナーⅠ	2	海外短期語学セミナー学修成果認定科目
		海外セミナーⅡ	2	
		海外セミナーⅢ	2	
		海外セミナーⅣ	2	
		外国理解Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
		外国理解Ⅱ	2	
		外国理解Ⅲ	2	
		外国理解Ⅳ	2	
数理・情報分野		数理科学入門	2	
		数理科学基礎	2	
		確率論入門	2	
		確率論基礎	2	
		統計学入門	2	
		統計学基礎	2	
		プレゼンテーション技術	2	
		マルチメディア表現法	2	
		情報倫理	2	
		社会データ分析入門	2	
		情報の科学	2	
		情報と社会	2	

	コンピュータ科学の基礎	2	
	プログラミング	2	
	情報リテラシー・入門	1	
	情報リテラシー・応用	1	
自然分野	科学と社会	2	
	宇宙の科学	2	
	地球の科学	2	
	物質の科学	2	
	エネルギーと社会	2	
	環境の科学	2	
	環境と都市	2	
	生命の科学	2	
	生物コミュニケーション	2	
	健康と運動の科学	2	
	健康と栄養	2	
	スポーツの科学	2	
社会分野	憲法学入門	2	
	法学入門	2	
	政治学入門	2	
	経済学入門	2	
	国際関係論	2	
	社会学入門	2	
	現代社会論	2	
	社会思想史	2	
	歴史学入門	2	
	経営学入門	2	
人文分野	哲学	2	
	現代の思想	2	
	言語と人間	2	
	民族と文化	2	
	民族と国家	2	
	社会と宗教	2	
	心理学	2	
	異文化コミュニケーション	2	

	倫理学通論	2	
	文学と人間（東洋）	2	
	文学と人間（西洋）	2	
	美術と人間	2	
	映画と人間	2	
	音楽と人間	2	
	演劇と人間	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	
	総合演習Ⅲ	2	
	総合演習Ⅳ	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
	日本理解Ⅰ	2	
	日本理解Ⅱ	2	
	日本発信基礎	2	
	日本発信応用	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

英語学科

授業科目			単位数	備考
基幹科目		言語文化論	2	
		歴史リテラシー入門	2	
		多文化コミュニケーション	2	
		世界政治事情	2	
		メディア・リテラシー入門	2	
		比較文化論入門	2	
		比較文学論入門	2	
		比較宗教論入門	2	
		フィールドワーク入門	2	
		異文化間コミュニケーション	2	
		映像コミュニケーション	2	
		ネットワークコミュニケーション	2	
		言語学入門	2	
		言語学概論	2	
演習科目		入門ゼミ	2	
		日本語コミュニケーション技術	2	
		国際フィールドワークⅠ	2	
		国際フィールドワークⅡ	2	
		演習Ⅰ	2	
		演習Ⅱ	2	
		演習Ⅲ	2	
		演習Ⅳ	2	
		卒業研究	4	
外国語・展開科目	英語	Basic Communication SkillsⅠ	1	
		Basic Communication SkillsⅡ	1	
		Developing Communication SkillsⅠ	1	
		Developing Communication SkillsⅡ	1	
		Intermediate Communication SkillsⅠ	1	
		Intermediate Communication SkillsⅡ	1	
		Advanced Communication SkillsⅠ	2	

		Advanced Communication SkillsⅡ	2	
		Basic Writing	1	
		Paragraph WritingⅠ	1	
		Paragraph WritingⅡ	1	
		Writing Styles	2	
		Essay Writing	2	
		Academic Writing	2	
		Advanced Communication SkillsⅢ	2	
		Advanced Communication SkillsⅣ	2	
		Remedial English Grammar	2	
	関連する科目	英語学概論	4	
		英語の歴史	2	
		Mass Media English	2	
		English GrammarⅠ	2	
		English GrammarⅡ	2	
		English Language and Culture Ⅱ	2	
		Business Communication	2	
		Business English	2	
		Business in Asia	2	
		Tourism and Airline Industries	2	
		Business Presentation Skills	2	
		日英通訳法	2	
		日英翻訳法	2	
		Second Language Acquisition	2	
		English Teaching Methods	2	
		英語音声学	2	
		イギリス文学講読	2	
		アメリカ文学講読	2	
		American History	2	
		British History	2	
		English Language and Culture Ⅰ	2	
		Advanced English Conversation Ⅰ	2	
		Advanced English Conversation Ⅱ	2	

		海外インターンシップ	6	
		中国語テキスト講読Ⅰ	2	
		中国語テキスト講読Ⅱ	2	
		中国語テキスト講読Ⅲ	2	
		中国語テキスト講読Ⅳ	2	
		中国語応用会話Ⅰ	2	
		中国語応用会話Ⅱ	2	
		中国語応用会話Ⅲ	2	
		中国語応用会話Ⅳ	2	
	隣接関連科目	国際経営論	2	
		国際マーケティング論	2	
		生産システムの国際移転	2	
		異文化マネジメント	2	
		比較経営史	2	
		国際ビジネス実践	2	
		国際経済論	2	
		国際流通論	2	
		アジア企業論	2	
		アジア経営比較論	2	
		中国国際経営論	2	
		中国ビジネス論	2	
		ヨーロッパビジネス論	2	
		アメリカビジネス論	2	
		マクロ経済学入門	2	
		ミクロ経済学入門	2	
		日本経済入門	2	
		金融論Ⅰ	2	
		アジア比較経済論	2	
		国際産業論	2	
		日本外交論	2	
		アジア社会論	2	
		比較法Ⅰ	2	
		比較法Ⅱ	2	

	外国法Ⅰ	2	
	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	会社法Ⅰ	2	
	会社法Ⅱ	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	外国事情Ⅰ	2	
	外国事情Ⅱ	2	
	外国事情Ⅲ	2	
	外国事情Ⅳ	2	
教職課程科目	教育方法論	2	
	英語科教育法	2	
	英語科指導法Ⅰ	2	
	英語科指導法Ⅱ	2	

国際教養学科

授業科目		単位数	備考
基幹科目	文化記号論入門	2	
	メディア・リテラシー入門	2	
	歴史リテラシー入門	2	
	多文化コミュニケーション	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	映像コミュニケーション	2	
	ネットワークコミュニケーション	2	
	言語学入門	2	
	言語学概論	2	
	言語文化論	2	
	日本語論	2	
	比較文化論入門	2	
	比較文学論入門	2	
	比較宗教論入門	2	
	世界政治事情	2	
	Current American Issues	2	
	現代日本事情	2	
	現代アジア事情	2	
	現代ヨーロッパ事情	2	
	日本の伝統芸能	2	
	フィールドワーク入門	2	
演習科目	入門ゼミ	2	
	Presemінar Ⅰ	2	
	Presemінar Ⅱ	2	
	Seminar Ⅰ	2	
	Seminar Ⅱ	2	
	演習 Ⅰ	2	
	演習 Ⅱ	2	
	演習 Ⅲ	2	
	演習 Ⅳ	2	
	卒業研究	4	

		国際フィールドワークⅠ	2	
		国際フィールドワークⅡ	2	
展開科目	Ⅰ.アメリカ研究	アメリカ文化論	2	
		American Culture	2	
		アメリカ生活文化論	2	
		アメリカ宗教社会論	2	
		American Society and Politics	2	
		アメリカ民俗論	2	
		History of American Culture	2	
		American Subcultures	2	
		アメリカ経済論	2	
	Ⅱ.日本・アジア研究	日本・アジア文化論（中国）	2	
		日本・アジア文化論（韓国）	2	
		日本・アジア生活文化論	2	
		日本・アジア文化史	2	
		日本・アジア思想文化論	2	
		日本・アジア言語文化論	2	
		日本・アジアサブカルチャー論	2	
		India Studies	2	
		Traditional Japan	2	
	Ⅲ.ヨーロッパ研究	ヨーロッパ文化論	2	
		ヨーロッパ文学論	2	
		ヨーロッパ生活文化論	2	
		ヨーロッパ文化史	2	
		ヨーロッパ民俗論	2	
		ヨーロッパ宗教社会論	2	
		ヨーロッパ政治社会論	2	
		ヨーロッパサブカルチャー論	2	
		ヨーロッパ経済論	2	
	A.グローバル	グローバルスタディーズ概論	2	
		グローバルポリティクスⅠ	2	
		グローバルポリティクスⅡ	2	
		グローバル産業社会論	2	

	スタディーズ	グローバル環境論	2	
		イスラーム世界論	2	
		政治哲学	2	
		アジア共同体の平和学	2	
		国際政治経済学	2	
		国際開発論	2	
	B. カルチュラルスタディーズ	Introduction to Cultural Studies	2	
		Rituals and Ceremonies	2	
		Multiculturalism Studies	2	
		Culture through the Arts	2	
		Introduction to Media Studies	2	
		Media Message Analysis	2	
		Topics in Media Studies	2	
		Popular Culture	2	
		Social Cultural Issues in Films	2	
	C. 国際観光学（異文化理解）	国際観光学概論	2	
		国際観光学特殊講義	2	
		東アジア観光文化論	2	
		観光文化論	2	
		世界遺産論	2	
		現代フォークロア論	2	
		民具・民芸論	2	
		民族芸術論	2	
		国際観光地理	2	
	海外インターンシップ		6	
隣接関連科目		国際経営論	2	
		国際マーケティング論	2	
		生産システムの国際移転	2	
		異文化マネジメント	2	
		比較経営史	2	
		国際ビジネス実践	2	
		国際経済論	2	
		国際流通論	2	

	アジア企業論	2	
	アジア経営比較論	2	
	中国国際経営論	2	
	中国ビジネス論	2	
	ヨーロッパビジネス論	2	
	アメリカビジネス論	2	
	マクロ経済学入門	2	
	ミクロ経済学入門	2	
	日本経済入門	2	
	金融論Ⅰ	2	
	アジア比較経済論	2	
	国際産業論	2	
	日本外交論	2	
	アジア社会論	2	
	比較法Ⅰ	2	
	比較法Ⅱ	2	
	外国法Ⅰ	2	
	憲法・基本的人権Ⅰ	2	
	憲法・基本的人権Ⅱ	2	
	憲法・統治機構Ⅰ	2	
	憲法・統治機構Ⅱ	2	
	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	会社法Ⅰ	2	
	会社法Ⅱ	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	外国事情Ⅰ	2	
	外国事情Ⅱ	2	
	外国事情Ⅲ	2	
	外国事情Ⅳ	2	

教職課程科目	教育方法論	2	
	社会科・地歴科教育法	2	
	社会科・公民科教育法	2	
	社会科教育法	2	
	日本史	1	※
	外国史	1	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※
	社会学	1	※
	哲学・倫理学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次に定めるところにより、合計34単位(外国人留学生は合計38単位)以上を修得しなければならない。

（1） 外国語分野

イ　日本人学生の場合

必修外国語として第１外国語８単位、第２外国語４単位、計２ヵ国語12単位

ロ　外国人留学生の場合

必修外国語として第１外国語８単位、第２外国語８単位、計２ヵ国語16単位

（2） 数理・情報、自然、社会、人文分野各４単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位

（3） 体育分野　２単位

2　専門教育科目は、次に定めるところにより必要な単位数を修得しなければならない。

（1） 英語学科　60単位以上

イ　基幹科目　12単位

ロ　演習科目　14単位

ハ　外国語・展開科目　34単位

（2） 国際教養学科　68単位以上

イ　基幹科目　12単位

ロ　演習科目　20単位

ハ　展開科目　36単位

3　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目並びに他学科の指定する科目の中から、英語学科については30単位(外国人留学生は26単位)以上、国際教養学科については22単位(外国人留学生は18単位)以上を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

4　その他授業科目の履修については、別に定める。

5　教職課程として指定する授業科目（※印）は、卒業要件に含めない。

備考

1　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

2　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　法学部　法学科

１　共通教育科目

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅲ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅳ	1	
		Ｐｒａｃｔｉｃａｌ　Ｅｎｇｌｉｓｈ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅱ	2	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅲ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅰ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅲ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅳ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅰ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅱ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅲ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅳ	2	
	ドイツ語	ドイツ語入門　Ⅰ	1	
		ドイツ語入門　Ⅱ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅰ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅱ	1	
		ドイツ語応用　Ⅰ	2	
		ドイツ語応用　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅰ	2	
		ドイツ語演習　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅲ	2	

		ドイツ語演習Ⅳ	2	
		ドイツ語演習Ⅴ	2	
		ドイツ語演習Ⅵ	2	
	フランス語	フランス語入門Ⅰ	1	
		フランス語入門Ⅱ	1	
		フランス語基礎Ⅰ	1	
		フランス語基礎Ⅱ	1	
		フランス語応用Ⅰ	2	
		フランス語応用Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅰ	2	
		フランス語演習Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅲ	2	
		フランス語演習Ⅳ	2	
		フランス語演習Ⅴ	2	
		フランス語演習Ⅵ	2	
	中国語	中国語入門Ⅰ	1	
		中国語入門Ⅱ	1	
		中国語基礎Ⅰ	1	
		中国語基礎Ⅱ	1	
		中国語応用Ⅰ	2	
		中国語応用Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅰ	2	
		中国語演習Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅲ	2	
		中国語演習Ⅳ	2	
		中国語演習Ⅴ	2	
		中国語演習Ⅵ	2	
	韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2	

	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅴ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅵ	2	
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1	
	ロシア語入門Ⅱ	1	
	ロシア語基礎Ⅰ	1	
	ロシア語基礎Ⅱ	1	
	ロシア語応用Ⅰ	2	
	ロシア語応用Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅰ	2	
	ロシア語演習Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅲ	2	
	ロシア語演習Ⅳ	2	
	ロシア語演習Ⅴ	2	
	ロシア語演習Ⅵ	2	
タイ語	タイ語入門Ⅰ	1	
	タイ語入門Ⅱ	1	
	タイ語基礎Ⅰ	1	
	タイ語基礎Ⅱ	1	
	タイ語応用Ⅰ	2	
	タイ語応用Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅰ	2	
	タイ語演習Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅲ	2	
	タイ語演習Ⅳ	2	
	タイ語演習Ⅴ	2	
	タイ語演習Ⅵ	2	
日本語	日本語Ⅰ	1	
	日本語Ⅱ	1	
	日本語Ⅲ	1	
	日本語Ⅳ	1	
	日本語Ⅴ	1	
	日本語Ⅵ	1	
	日本語Ⅶ	1	

		日本語Ⅷ	1	外国人留学生履修科目
		専門日本語Ⅰ	2	
		専門日本語Ⅱ	2	
		ビジネス日本語Ⅰ	2	
		ビジネス日本語Ⅱ	2	
		日本事情Ⅰ	2	
		日本事情Ⅱ	2	
	その他	海外セミナーⅠ	2	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
		海外セミナーⅡ	2	
		海外セミナーⅢ	2	
		海外セミナーⅣ	2	
		外国理解Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
		外国理解Ⅱ	2	
		外国理解Ⅲ	2	
		外国理解Ⅳ	2	
数理・情報分野		数理科学入門	2	
		数理科学基礎	2	
		確率論入門	2	
		確率論基礎	2	
		統計学入門	2	
		統計学基礎	2	
		プレゼンテーション技術	2	
		マルチメディア表現法	2	
		情報倫理	2	
		社会データ分析入門	2	
		情報の科学	2	
		情報と社会	2	
		コンピュータ科学の基礎	2	
		プログラミング	2	
		情報リテラシー・入門	1	
		情報リテラシー・応用	1	
自然分野		科学と社会	2	
		宇宙の科学	2	
		地球の科学	2	
		物質の科学	2	

	エネルギーと社会	2	
	環境の科学	2	
	環境と都市	2	
	生命の科学	2	
	生物コミュニケーション	2	
	健康と運動の科学	2	
	健康と栄養	2	
	スポーツの科学	2	
社会分野	法学入門	2	
	政治学入門	2	
	経済学入門	2	
	国際関係論	2	
	社会学入門	2	
	現代社会論	2	
	社会思想史	2	
	歴史学入門	2	
	経営学入門	2	
人文分野	哲学	2	
	現代の思想	2	
	言語と人間	2	
	民族と文化	2	
	民族と国家	2	
	社会と宗教	2	
	心理学	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	倫理学通論	2	
	文学と人間（東洋）	2	
	文学と人間（西洋）	2	
	美術と人間	2	
	映画と人間	2	
	音楽と人間	2	
	演劇と人間	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	

	総合演習Ⅲ	2	
	総合演習Ⅳ	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
	日本理解Ⅰ	2	
	日本理解Ⅱ	2	
	日本発信基礎	2	
	日本発信応用	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

区　分	授　業　科　目	単位数	備　考
基礎法部門	法哲学Ⅰ	2	
	法哲学Ⅱ	2	
	法思想史Ⅰ	2	
	法思想史Ⅱ	2	
	法社会学Ⅰ	2	
	法社会学Ⅱ	2	
	西洋法制史Ⅰ	2	
	西洋法制史Ⅱ	2	
	日本法制史Ⅰ	2	
	日本法制史Ⅱ	2	
	比較法Ⅰ	2	
	比較法Ⅱ	2	
	外国法Ⅰ	2	
	外国法Ⅱ	2	
	中国法Ⅰ	2	
	中国法Ⅱ	2	
公法部門	憲法・基本的人権Ⅰ	2	
	憲法・基本的人権Ⅱ	2	
	憲法・統治機構Ⅰ	2	
	憲法・統治機構Ⅱ	2	
	行政法総論Ⅰ	2	
	行政法総論Ⅱ	2	
	行政救済法	2	
	行政法各論	2	
	租税法Ⅰ	2	
	租税法Ⅱ	2	
	国際法総論Ⅰ	2	
	国際法総論Ⅱ	2	
	国際法各論	2	
	国際組織法	2	
	刑法総論Ⅰ	2	
	刑法総論Ⅱ	2	
	刑法各論Ⅰ	2	

	刑法各論Ⅱ	2	
	刑事訴訟法Ⅰ	2	
	刑事訴訟法Ⅱ	2	
	刑事政策Ⅰ	2	
	刑事政策Ⅱ	2	
私法部門	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	物権法	2	
	担保物権法	2	
	債権法Ⅰ	2	
	債権法Ⅱ	2	
	契約法Ⅰ	2	
	契約法Ⅱ	2	
	不法行為法	2	
	家族法	2	
	相続法	2	
	民事訴訟法Ⅰ	2	
	民事訴訟法Ⅱ	2	
	民事執行法	2	
	倒産法	2	
	企業取引法	2	
	会社法Ⅰ	2	
	会社法Ⅱ	2	
	支払決済法	2	
	金融商品取引法	2	
	保険法	2	
	国際私法	2	
	国際取引法	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	社会保障法	2	
	社会福祉法	2	
	経済法Ⅰ	2	
	経済法Ⅱ	2	
	知的所有権法	2	
	消費者法	2	

国際部門	海外法政セミナー入門	2	
	海外法政セミナーⅠ	2	
	海外法政セミナーⅡ	2	
	海外法政セミナーⅢ	2	
	海外法政セミナーⅣ	2	
	外国事情Ⅰ	2	
	外国事情Ⅱ	2	
	外国事情Ⅲ	2	
	外国事情Ⅳ	2	
	海外インターンⅠ	2	
	海外インターンⅡ	2	
	海外インターンⅢ	2	
	海外インターンⅣ	2	
行政・政治部門	政治学Ⅰ	2	
	政治学Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	
	日本政治論	2	
	日本政治思想史	2	
	近現代日本政治史	2	
	国際政治学Ⅰ	2	
	国際政治学Ⅱ	2	
	比較政治学Ⅰ	2	
	比較政治学Ⅱ	2	
	近現代ヨーロッパ政治史	2	
	ヨーロッパ政治思想史	2	
	現代政治理論	2	
	自治体職員論	2	
	地域政策概論	2	
	地方自治論Ⅰ	2	
	地方自治論Ⅱ	2	
	公共政策論Ⅰ	2	
	公共政策論Ⅱ	2	
	計量政治行政分析Ⅰ	2	
	計量政治行政分析Ⅱ	2	

演習部門	入門演習	2	
	基礎演習Ⅰ	2	
	基礎演習Ⅱ	2	
	基礎演習Ⅲ	2	
	外国法政研究Ⅰ	2	
	外国法政研究Ⅱ	2	
	外国法政研究Ⅲ	2	
	外国法政研究Ⅳ	2	
	外国法政研究Ⅴ	2	
	外国法政研究Ⅵ	2	
	判例研究（憲法）	2	
	判例研究（民事法）	2	
	判例研究（刑事法）	2	
	模擬裁判Ⅰ	2	
	模擬裁判Ⅱ	2	
	専門演習Ⅰ	4	
	専門演習Ⅱ	4	
	卒業論文	4	
特殊部門	法律学特殊講義	2	
	政治学特殊講義	2	
隣接・関連分野	マーケティング論	2	
	国際経営論	2	
	国際経済論	2	
	会計学入門	2	
	財務諸表論	2	
	会計監査論Ⅰ	2	
	会計監査論Ⅱ	2	
	企業論Ⅰ	2	
	企業論Ⅱ	2	
	日中関係論	2	
	日中ビジネス論	2	
	マクロ経済学入門	2	
	ミクロ経済学入門	2	

	日本経済入門	2	
	財政学Ⅰ	2	
	公共経済学Ⅰ	2	
	日本経済論Ⅰ	2	
	公共経済学Ⅱ	2	
	財政学Ⅱ	2	
	日本経済論Ⅱ	2	
	労働経済学	2	
	国際金融論	2	
	金融論Ⅰ	2	
	金融論Ⅱ	2	
	多文化コミュニケーション	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	世界政治事情	2	
	Business Communication	2	
教職課程科目	教育方法論	2	
	社会科・公民科教育法	2	
	社会科教育法	2	
	日本史	1	※
	外国史	1	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※
	社会学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次に定めるところにより合計32単位(社会人入試入学者は28単位、外国人留学生は32単位)以上を修得しなければならない。

（1）　外国語分野

イ　日本人学生の場合

第１外国語(英語)　　６単位以上

第２外国語(英語以外)　４単位以上

ロ　社会人入試入学者の場合

英語　　６単位以上

ハ　外国人留学生の場合

第１外国語(英語)　２単位以上

第２外国語(日本語)　８単位以上

（2）　数理・情報分野　　４単位以上

（３） 自然分野　　４単位以上
（４） 社会分野　　４単位以上
（５） 人文分野　　４単位以上
（６） 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から４単位以上
（７） 体育分野　　２単位以上

２　専門教育科目は、次に定めるところにより必要な単位数を修得しなければならない。

（１） 司法コース

基礎法部門４単位以上、公法部門18単位以上、私法部門26単位以上、行政・政治部門４単位以上、演習部門10単位以上及び専門教育科目全体から８単位以上を含め合計70単位以上

（２） 行政コース

基礎法部門４単位以上、公法部門20単位以上、私法部門16単位以上、行政・政治部門12単位以上、演習部門10単位以上及び専門教育科目全体から８単位以上を含め合計70単位以上

（３） 企業コース

基礎法部門４単位以上、公法部門16単位以上、私法部門26単位以上、行政・政治部門６単位以上、演習部門10単位以上及び専門教育科目全体から８単位以上を含め合計70単位以上

３　上記のほか、各授業科目区分全体の中から、次に定めるところにより必要な単位数を含め、合計124単位以上を修得しなければならない。

（１） 司法コース　22単位(社会人入試入学者は26単位、外国人留学生は22単位)以上
（２） 行政コース　22単位(社会人入試入学者は26単位、外国人留学生は22単位)以上
（３） 企業コース　22単位(社会人入試入学者は26単位、外国人留学生は22単位)以上

４　その他授業科目の履修については、別に定める。
５　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

１　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

２　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

３　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　経営学部

１　共通教育科目(各学科共通)

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅲ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅳ	1	
		Ｐｒａｃｔｉｃａｌ　Ｅｎｇｌｉｓｈ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅱ	2	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅲ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅰ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅲ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅳ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅰ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅱ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅲ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅳ	2	
	ドイツ語	ドイツ語入門　Ⅰ	1	
		ドイツ語入門　Ⅱ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅰ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅱ	1	
		ドイツ語応用　Ⅰ	2	
		ドイツ語応用　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅰ	2	
		ドイツ語演習　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅲ	2	

		ドイツ語演習Ⅳ	2	
		ドイツ語演習Ⅴ	2	
		ドイツ語演習Ⅵ	2	
	フランス語	フランス語入門Ⅰ	1	
		フランス語入門Ⅱ	1	
		フランス語基礎Ⅰ	1	
		フランス語基礎Ⅱ	1	
		フランス語応用Ⅰ	2	
		フランス語応用Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅰ	2	
		フランス語演習Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅲ	2	
		フランス語演習Ⅳ	2	
		フランス語演習Ⅴ	2	
		フランス語演習Ⅵ	2	
	中国語	中国語入門Ⅰ	1	
		中国語入門Ⅱ	1	
		中国語基礎Ⅰ	1	
		中国語基礎Ⅱ	1	
		中国語応用Ⅰ	2	
		中国語応用Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅰ	2	
		中国語演習Ⅱ	2	
		中国語演習Ⅲ	2	
		中国語演習Ⅳ	2	
		中国語演習Ⅴ	2	
		中国語演習Ⅵ	2	
	韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2	

	韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅴ	2	
	韓国・朝鮮語演習Ⅵ	2	
ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1	
	ロシア語入門Ⅱ	1	
	ロシア語基礎Ⅰ	1	
	ロシア語基礎Ⅱ	1	
	ロシア語応用Ⅰ	2	
	ロシア語応用Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅰ	2	
	ロシア語演習Ⅱ	2	
	ロシア語演習Ⅲ	2	
	ロシア語演習Ⅳ	2	
	ロシア語演習Ⅴ	2	
	ロシア語演習Ⅵ	2	
タイ語	タイ語入門Ⅰ	1	
	タイ語入門Ⅱ	1	
	タイ語基礎Ⅰ	1	
	タイ語基礎Ⅱ	1	
	タイ語応用Ⅰ	2	
	タイ語応用Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅰ	2	
	タイ語演習Ⅱ	2	
	タイ語演習Ⅲ	2	
	タイ語演習Ⅳ	2	
	タイ語演習Ⅴ	2	
	タイ語演習Ⅵ	2	
日本語	日本語Ⅰ	1	
	日本語Ⅱ	1	
	日本語Ⅲ	1	
	日本語Ⅳ	1	
	日本語Ⅴ	1	
	日本語Ⅵ	1	
	日本語Ⅶ	1	

		日本語 Ⅷ	1	外国人留学生履修科目
		専門日本語 Ⅰ	2	
		専門日本語 Ⅱ	2	
		ビジネス日本語 Ⅰ	2	
		ビジネス日本語 Ⅱ	2	
		日本事情 Ⅰ	2	
		日本事情 Ⅱ	2	
	その他	海外セミナー Ⅰ	2	海外短期語学セミナー 学修成果認定科目
		海外セミナー Ⅱ	2	
		海外セミナー Ⅲ	2	
		海外セミナー Ⅳ	2	
		外国理解 Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
		外国理解 Ⅱ	2	
		外国理解 Ⅲ	2	
		外国理解 Ⅳ	2	
数理・情報分野		数理科学入門	2	
		数理科学基礎	2	
		確率論入門	2	
		確率論基礎	2	
		統計学入門	2	
		統計学基礎	2	
		プレゼンテーション技術	2	
		マルチメディア表現法	2	
		情報倫理	2	
		社会データ分析入門	2	
		情報の科学	2	
		情報と社会	2	
		コンピュータ科学の基礎	2	
		プログラミング	2	
		情報リテラシー・入門	1	
		情報リテラシー・応用	1	
自然分野		科学と社会	2	
		宇宙の科学	2	
		地球の科学	2	
		物質の科学	2	

	エネルギーと社会	2	
	環境の科学	2	
	環境と都市	2	
	生命の科学	2	
	生物コミュニケーション	2	
	健康と運動の科学	2	
	健康と栄養	2	
	スポーツの科学	2	
社会分野	憲法学入門	2	
	法学入門	2	
	政治学入門	2	
	経済学入門	2	
	国際関係論	2	
	社会学入門	2	
	現代社会論	2	
	社会思想史	2	
	歴史学入門	2	
人文分野	哲学	2	
	現代の思想	2	
	言語と人間	2	
	民族と文化	2	
	民族と国家	2	
	社会と宗教	2	
	心理学	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	倫理学通論	2	
	文学と人間（東洋）	2	
	文学と人間（西洋）	2	
	美術と人間	2	
	映画と人間	2	
	音楽と人間	2	
	演劇と人間	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	

	総合演習Ⅲ	2	
	総合演習Ⅳ	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
	日本理解Ⅰ	2	
	日本理解Ⅱ	2	
	日本発信基礎	2	
	日本発信応用	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

（1）　経営学科

授業科目			単位数	備考
学部共通部門		経営学入門	2	
		会計学入門	2	
		流通論	2	
		マーケティング論	2	
		情報システム概論	2	
		国際経営論	2	
		ファイナンス論	2	
		企業法	2	
		経営統計	2	
		ミクロ経済学	2	
		マクロ経済学	2	
ビジネス・マネジメントコース	ビジネス部門	ビジネス・エコノミクスⅠ	2	
		ビジネス・エコノミクスⅡ	2	
		経営史Ⅰ	2	
		経営史Ⅱ	2	
		企業論Ⅰ	2	
		企業論Ⅱ	2	
		経営立地論Ⅰ	2	
		経営立地論Ⅱ	2	
		コーポレートファイナンス論Ⅰ	2	
		コーポレートファイナンス論Ⅱ	2	
	マネジメント部門	経営戦略論Ⅰ	2	
		経営戦略論Ⅱ	2	
		経営管理論Ⅰ	2	
		経営管理論Ⅱ	2	
		生産管理論Ⅰ	2	
		生産管理論Ⅱ	2	
		人事管理論	2	
		労使関係論	2	
		経営組織論Ⅰ	2	
		経営組織論Ⅱ	2	

		会社法Ⅰ	2	
		会社法Ⅱ	2	
流通・マーケティングコース	流通部門	流通政策論	2	
		国際流通論	2	
		金融概論	2	
		物流論	2	
		小売経営論	2	
		ロジスティクス論	2	
	マーケティング部門	消費者行動論Ⅰ	2	
		消費者行動論Ⅱ	2	
		マーケティング戦略論	2	
		マーケティング・リサーチ	2	
		マーケティング・コミュニケーション	2	
		マーケティング・システム	2	
		サービス・マーケティング	2	
		環境マーケティング	2	
		国際マーケティング論	2	
情報システムコース	情報システム部門	オペレーションズ・リサーチ	2	
		情報通信サービスの発展	2	
		ＩＣＴと組織	2	
		プログラミング入門	2	
		社会とデータサイエンス	2	
		経営データ解析Ⅰ	2	
		経営データ解析Ⅱ	2	
		プログラミング論	2	
		オペレーティングシステム論	2	
		データベース論	2	
		情報システム論	2	
		コンピュータネットワーク論	2	
		ソフトウェア工学	2	
		シミュレーション論	2	
		システムデザイン	2	
		コンピュータセキュリティ論	2	

国際ビジネスコース	国際ビジネス部門	国際マーケティング論	2	
		生産システムの国際移転	2	
		異文化マネジメント	2	
		比較経営史	2	
		国際ビジネス実践	2	
		ビジネス英語Ⅰ	2	
		ビジネス英語Ⅱ	2	
		国際経済論	2	
		国際流通論	2	
	地域ビジネス部門	アジア企業論	2	
		アジア経営比較論	2	
		中国国際経営論	2	
		中国ビジネス論	2	
		ヨーロッパビジネス論	2	
		アメリカビジネス論	2	
演習部門		外国書講読Ⅰ	2	
		外国書講読Ⅱ	2	
		外国書講読Ⅲ	2	
		外国書講読Ⅳ	2	
		入門ゼミ	2	
		専門演習Ⅰ	2	
		専門演習Ⅱ	2	
		専門演習Ⅲ	2	
		専門演習Ⅳ	2	
		卒業論文	4	
その他		経営学特殊講義Ⅰ	2	
		経営学特殊講義Ⅱ	2	
		経営学特殊講義Ⅲ	2	
		経営学特殊講義Ⅳ	2	
		経営学特殊講義Ⅴ	2	
		外国事情Ⅰ	2	
		外国事情Ⅱ	2	
		外国事情Ⅲ	2	
		外国事情Ⅳ	2	

隣接・関連分野	産業組織論	2	
	アメリカ経済論	2	
	ヨーロッパ経済論	2	
	国際産業論	2	
	日本経済論Ⅰ	2	
	日本経済論Ⅱ	2	
	公共経済学Ⅰ	2	
	公共経済学Ⅱ	2	
	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	契約法Ⅰ	2	
	契約法Ⅱ	2	
	企業取引法	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	経済法Ⅰ	2	
	経済法Ⅱ	2	
	消費者法	2	
	金融商品取引法	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	国際観光学概論	2	
	グローバル産業社会論	2	
	アジア経済関係論	2	
	中国国際経済論	2	
教職課程科目	教育方法論	2	
	社会科・公民科教育法	2	
	社会科教育法	2	
	商業科教育法Ⅰ	2	
	情報科教育法Ⅰ	2	
	職業指導	1	※
	情報産業論	2	※
	情報化社会と職業	1	※
	日本史	1	※
	外国史	1	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※

	社　　会　　学	1	※
	哲　学　・　倫　理　学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次に定めるところにより合計32単位以上を修得しなければならない。

（1）　外国語分野

イ　日本人学生の場合

第１外国語(英語)　　６単位以上

第２外国語(英語以外)　４単位以上

ロ　外国人留学生の場合

第１外国語(英語)　　２単位以上

第２外国語(日本語)　８単位以上

（2）　数理・情報分野　　４単位以上

（3）　自然分野　　４単位以上

（4）　社会分野　　４単位以上

（5）　人文分野　　４単位以上

（6）　数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から４単位以上

（7）　体育分野　　２単位以上

2　専門教育科目は、次に定めるところにより合計64単位以上を修得しなければならない。

（1）　ビジネス・マネジメントコース

学部共通部門10単位以上、ビジネス部門６単位以上、マネジメント部門６単位以上、演習部門８単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から34単位以上

（2）　流通・マーケティングコース

学部共通部門10単位以上、流通部門６単位以上、マーケティング部門８単位以上、演習部門８単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から32単位以上

（3）　情報システムコース

学部共通部門10単位以上、情報システム部門16単位以上、演習部門８単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から30単位以上

（4）　国際ビジネスコース

学部共通部門10単位以上、国際ビジネス部門８単位以上、地域ビジネス部門６単位以上、演習部門８単位以上、経営学科専門教育科目及び経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目の中から32単位以上

3　上記のほか、各授業科目区分全体の中から28単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

4　その他授業科目の履修については、別に定める。

5　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

1　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

2　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

（2） 会計ファイナンス学科

授業科目			単位数	備考
学部共通部門		経営学入門	2	
		会計学入門	2	
		流通論	2	
		マーケティング論	2	
		情報システム概論	2	
		国際経営論	2	
		ファイナンス論	2	
		企業法	2	
		経営統計	2	
		ミクロ経済学	2	
		マクロ経済学	2	
学科共通部門		商業簿記初級	2	
		商業簿記中級Ⅰ	2	
		商業簿記中級Ⅱ	2	
		上級簿記Ⅰ	2	
		上級簿記Ⅱ	2	
		上級簿記Ⅲ	2	
		税法入門	2	
		経営分析論	2	
アカウンティングコース	アカウンティング部門	工業簿記	2	
		会計学基礎理論	2	
		財務諸表論	2	
		財務会計論総合研究	2	
		連結会計論	2	
		制度会計論	2	
		原価計算論Ⅰ	2	
		原価計算論Ⅱ	2	
		原価計算論総合研究	2	
		管理会計基礎理論	2	
		管理会計応用理論	2	
		管理会計論総合研究	2	
		会計監査論Ⅰ	2	
		会計監査論Ⅱ	2	

		会計監査論総合研究	2	
		税務会計基礎理論	2	
		税務会計応用理論	2	
		国際会計論	2	
		会計情報処理論	2	
		公会計論	2	
		社会関連会計論	2	
ファイナンスコース	ファイナンス部門	コーポレートファイナンス論Ⅰ	2	
		コーポレートファイナンス論Ⅱ	2	
		資本調達論	2	
		投資決定論	2	
		金融工学	2	
		金融論	2	
		金融政策	2	
		金融機関論	2	
		国際経済論	2	
		国際金融論	2	
		金融・証券市場論	2	
		証券分析論	2	
		年金・保険論	2	
		財政学Ⅰ	2	
		財政学Ⅱ	2	
		パーソナルファイナンス	2	
ビジネスデザインコース	ビジネスデザイン部門	ＣＳＲ分析論	2	
		企業価値評価論	2	
		ソーシャルデザイン	2	
		地域経営分析論	2	
		社会調査方法論	2	
		ケーススタディ	2	
		ビジネスデザイン	2	
		企業論Ⅰ	2	
		企業論Ⅱ	2	
		リスクマネジメント	2	
		経済性分析	2	
		経営戦略論Ⅰ	2	

	経営管理論Ⅰ	2	
	経営組織論Ⅰ	2	
	社会とデータサイエンス	2	
	シミュレーション論	2	
演習部門	外国書講読Ⅰ	2	
	外国書講読Ⅱ	2	
	外国書講読Ⅲ	2	
	外国書講読Ⅳ	2	
	入門ゼミ	2	
	専門演習Ⅰ	2	
	専門演習Ⅱ	2	
	専門演習Ⅲ	2	
	専門演習Ⅳ	2	
	卒業論文	4	
その他	会計学特殊講義Ⅰ	2	
	会計学特殊講義Ⅱ	2	
	会計学特殊講義Ⅲ	2	
	外国事情Ⅰ	2	
	外国事情Ⅱ	2	
	外国事情Ⅲ	2	
	外国事情Ⅳ	2	
隣接・関連分野	産業組織論	2	
	アメリカ経済論	2	
	ヨーロッパ経済論	2	
	国際産業論	2	
	日本経済論Ⅰ	2	
	日本経済論Ⅱ	2	
	公共経済学Ⅰ	2	
	公共経済学Ⅱ	2	
	民法総則Ⅰ	2	
	民法総則Ⅱ	2	
	契約法Ⅰ	2	
	契約法Ⅱ	2	
	企業取引法	2	
	労働法Ⅰ	2	

	労働法Ⅱ	2	
	経済法Ⅰ	2	
	経済法Ⅱ	2	
	消費者法	2	
	金融商品取引法	2	
	異文化間コミュニケーション	2	
	国際観光学概論	2	
	グローバル産業社会論	2	
	アジア経済関係論	2	
	中国国際経済論	2	
教科目 教職課程	教育方法論	2	
	商業科教育法Ⅰ	2	
	職業指導	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次に定めるところにより合計32単位以上を修得しなければならない。

（1）　外国語分野

イ　日本人学生の場合

第１外国語(英語)　　６単位以上

第２外国語(英語以外)　　４単位以上

ロ　外国人留学生の場合

第１外国語(英語)　　２単位以上

第２外国語(日本語)　　８単位以上

（2）　数理・情報分野　　４単位以上

（3）　自然分野　　４単位以上

（4）　社会分野　　４単位以上

（5）　人文分野　　４単位以上

（6）　数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から４単位以上

（7）　体育分野　　２単位以上

2　専門教育科目は、次に定めるところにより合計64単位以上を修得しなければならない。

（1）　アカウティングコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門２単位以上、アカウンティング部門16単位以上、演習部門４単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から32単位以上を含め64単位以上

（2）　ファイナンスコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門２単位以上、ファイナンス部門14単位以上、演習部門４単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から34単位以上を含め64単位以上

（３） ビジネスデザインコース

学部共通部門10単位以上、学科共通部門２単位以上、ビジネスデザイン部門14単位以上、演習部門４単位以上、会計ファイナンス学科専門教育科目及び会計ファイナンス学科が指定する経営学科専門教育科目の中から34単位以上を含め64単位以上

３　上記のほか、各授業科目区分全体の中から28単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

４　その他授業科目の履修については、別に定める。

５　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

１　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

２　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

３　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　現代中国学部　現代中国学科

１　共通教育科目

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｐｒａｃｔｉｃａｌ　Ｅｎｇｌｉｓｈ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅱ	2	
		ＴＯＥＩＣ　Ⅲ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅰ	2	
		Ｃｕｒｒｅｎｔ　Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ⅱ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ｗｒｉｔｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	2	
		Ａｄｖａｎｃｅｄ　Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅰ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅱ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅲ	2	
		Ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ　Ｓｋｉｌｌｓ　Ⅳ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅰ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅱ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅲ	2	
		Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｓｅｍｉｎａｒ　Ⅳ	2	
	ドイツ語	ドイツ語入門　Ⅰ	1	
		ドイツ語入門　Ⅱ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅰ	1	
		ドイツ語基礎　Ⅱ	1	
		ドイツ語応用　Ⅰ	2	
		ドイツ語応用　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅰ	2	
		ドイツ語演習　Ⅱ	2	
		ドイツ語演習　Ⅲ	2	
		ドイツ語演習　Ⅳ	2	
		ドイツ語演習　Ⅴ	2	

		ドイツ語演習Ⅵ	2	
	フランス語	フランス語入門Ⅰ	1	
		フランス語入門Ⅱ	1	
		フランス語基礎Ⅰ	1	
		フランス語基礎Ⅱ	1	
		フランス語応用Ⅰ	2	
		フランス語応用Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅰ	2	
		フランス語演習Ⅱ	2	
		フランス語演習Ⅲ	2	
		フランス語演習Ⅳ	2	
		フランス語演習Ⅴ	2	
		フランス語演習Ⅵ	2	
	韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語入門Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅰ	1	
		韓国・朝鮮語基礎Ⅱ	1	
		韓国・朝鮮語応用Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語応用Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅰ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅱ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅲ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅳ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅴ	2	
		韓国・朝鮮語演習Ⅵ	2	
	ロシア語	ロシア語入門Ⅰ	1	
		ロシア語入門Ⅱ	1	
		ロシア語基礎Ⅰ	1	
		ロシア語基礎Ⅱ	1	
		ロシア語応用Ⅰ	2	
		ロシア語応用Ⅱ	2	
		ロシア語演習Ⅰ	2	
		ロシア語演習Ⅱ	2	
		ロシア語演習Ⅲ	2	
		ロシア語演習Ⅳ	2	

	ロシア語演習 V	2	
	ロシア語演習 VI	2	
タイ語	タイ語入門 I	1	
	タイ語入門 II	1	
	タイ語基礎 I	1	
	タイ語基礎 II	1	
	タイ語応用 I	2	
	タイ語応用 II	2	
	タイ語演習 I	2	
	タイ語演習 II	2	
	タイ語演習 III	2	
	タイ語演習 IV	2	
	タイ語演習 V	2	
	タイ語演習 VI	2	
日本語	日本語 I	1	外国人留学生履修科目
	日本語 II	1	
	日本語 III	1	
	日本語 IV	1	
	日本語 V	1	
	日本語 VI	1	
	日本語 VII	1	
	日本語 VIII	1	
	専門日本語 I	2	
	専門日本語 II	2	
	ビジネス日本語 I	2	
	ビジネス日本語 II	2	
	日本事情 I	2	
	日本事情 II	2	
その他	海外セミナー I	2	海外短期語学セミナー学修成果認定科目
	海外セミナー II	2	
	海外セミナー III	2	
	海外セミナー IV	2	
	外国理解 I	2	留学学修成果認定科目
	外国理解 II	2	
	外国理解 III	2	

	外国理解Ⅳ	2	）
数理・情報分野	数理科学入門	2	
	数理科学基礎	2	
	確率論入門	2	
	確率論基礎	2	
	統計学入門	2	
	統計学基礎	2	
	プレゼンテーション技術	2	
	マルチメディア表現法	2	
	情報倫理	2	
	社会データ分析入門	2	
	情報の科学	2	
	情報と社会	2	
	コンピュータ科学の基礎	2	
	プログラミング	2	
	情報リテラシー・入門	1	
	情報リテラシー・応用	1	
自然分野	科学と社会	2	
	宇宙の科学	2	
	地球の科学	2	
	物質の科学	2	
	エネルギーと社会	2	
	環境の科学	2	
	環境と都市	2	
	生命の科学	2	
	生物コミュニケーション	2	
	健康と運動の科学	2	
	健康と栄養	2	
	スポーツの科学	2	
社会分野	憲法学入門	2	
	法学入門	2	
	政治学入門	2	
	経済学入門	2	
	国際関係論	2	
	社会学入門	2	

	現代社会論	2	
	社会思想史	2	
	歴史学入門	2	
	経営学入門	2	
人文分野	哲学	2	
	現代の思想	2	
	言語と人間	2	
	民族と文化	2	
	民族と国家	2	
	社会と宗教	2	
	心理学	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	倫理学通論	2	
	文学と人間（東洋）	2	
	文学と人間（西洋）	2	
	美術と人間	2	
	映画と人間	2	
	音楽と人間	2	
	演劇と人間	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	
	総合演習Ⅲ	2	
	総合演習Ⅳ	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
	日本理解Ⅰ	2	
	日本理解Ⅱ	2	
	日本発信基礎	2	
	日本発信応用	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

授業科目			単位数	備考
専門教育科目	専門共通部門	現代中国入門	2	
		現代中国学総論	2	
		中国地理	2	
		中国経済概説	2	
		中国思想概説	2	
		中国語学概説	2	
		中国文学概説	2	
		中国前近代史	2	
		中国近代史	2	
		中華人民共和国史	2	
		中国社会論	2	
		中国法概説	2	
		日中戦争史	2	
		日中関係論	2	
		東アジアポップカルチャー	2	
		現代中国学特殊講義	2	
		相互交流入門Ⅰ	2	
		相互交流入門Ⅱ	2	
		相互交流基礎	2	
		相互交流応用Ⅰ	2	
		相互交流応用Ⅱ	2	
	ビジネス部門	中国経済史	2	
		中国経済論	2	
		中国製造業論	2	
		中国サービス産業論	2	
		中国政治論	2	
		中国農業経済論	2	
		中国国際経済論	2	
		アジア経済関係論	2	
		日中ビジネス論	2	
		日中ビジネス特殊講義	2	
		中国情報産業論	2	
		東アジア観光文化論	2	
		国際経済学概説	2	

	中国法	2	
言語文化部門	中国現代文学史	2	
	中国語表現論	2	
	中国語文法論	2	
	中国語語彙論	2	
	中国語方言Ⅰ	2	
	中国語方言Ⅱ	2	
	中国語方言Ⅲ	2	
	中国語方言Ⅳ	2	
	中国現代文学論	2	
	東アジア現代文学論	2	
	東アジア古典芸術論	2	
	東アジア現代芸術論	2	
	中国教育論	2	
	中国民俗学	2	
	国際文化論	2	
	日中比較文化論	2	
	中国文化特殊講義	2	
国際関係部門	国際文化論	2	
	日本外交論	2	
	東アジア国際政治	2	
	アジア経済関係論	2	
	アジア社会論	2	
	中国外交論	2	
	中国政治論	2	
	国際経済学概説	2	
	中国民族論	2	
	中国近代思想史	2	
	中国法	2	
	東アジア観光文化論	2	
	東アジア国際関係特殊講義	2	
中国語強化部門	中国語プレゼンテーションⅠ	2	
	中国語プレゼンテーションⅡ	2	
	上級中国語Ⅰ	2	
	上級中国語Ⅱ	2	

	外国書講読	外国書講読Ⅰ	2	
		外国書講読Ⅱ	2	
	語学部門	中国語リスニングⅠ	1	
		中国語リスニングⅡ	1	
		基礎中国語Ⅰ	1	
		基礎中国語Ⅱ	1	
		基礎中国語Ⅲ	1	
		基礎中国語Ⅳ	1	
		基礎中国語Ⅴ	1	
		基礎中国語Ⅵ	1	
		基礎中国語Ⅶ	1	
		基礎中国語Ⅷ	1	
		応用中国語Ⅰ	2	現地プログラム
		応用中国語Ⅱ	2	
		応用中国語Ⅲ	2	
		応用中国語Ⅳ	2	
		応用中国語Ⅴ	2	
		応用中国語Ⅵ	2	
		応用中国語Ⅶ	2	
		応用中国語Ⅷ	2	
		コミュニケーション中国語Ⅰ	2	
		コミュニケーション中国語Ⅱ	2	
		日中ビジネス会話Ⅰ	2	
		日中ビジネス会話Ⅱ	2	
		Business English	2	
	演習部門	入門演習	2	
		基礎演習	2	
		専門演習Ⅰ	2	
		専門演習Ⅱ	2	
		専門演習Ⅲ	2	
		専門演習Ⅳ	2	
		卒業研究	4	
	中国語情報部門	ネットワーク情報論	2	
		ソフトウエア演習	2	
		中国データ分析	2	

専門教育科目・現地実習関連部門	現地プログラム部門	現地プログラム基礎	2	
		現地プログラム生活事前教育	2	
		現地ライフレポート	1	現地プログラム
		中国文化講座	2	
		現代中国社会論	2	
	現地調査部門	国際社会調査論	2	
		現地研究調査基礎	2	
		現地研究調査・報告	4	
	現地インターンシップ関連部門	現地インターンシップ事前研修	2	
		現地インターンシップ研究報告	2	
隣接・関連分野		国際法総論Ⅰ	2	
		国際法総論Ⅱ	2	
		マクロ経済学入門	2	
		ミクロ経済学入門	2	
		財政学Ⅰ	2	
		日本経済論Ⅰ	2	
		日本経済論Ⅱ	2	
		中国ビジネス論	2	
		会計学入門	2	
		日本の伝統芸能	2	
		外国事情Ⅰ	2	
		外国事情Ⅱ	2	
		外国事情Ⅲ	2	
		外国事情Ⅳ	2	
教職課程科目		教育方法論	2	
		社会科・地歴科教育法	2	
		中国語科教育法	2	
		日本史	1	※

	外国史	1	※
	地理学通論	1	※
	地誌学	1	※
	社会学	1	※
	哲学・倫理学	1	※

卒業要件

1　日本人学生

（1）　共通教育科目は、次に定めるところにより合計21単位以上を修得しなければならない。

イ　外国語分野　英語　　３単位以上
ロ　数理・情報分野　　２単位以上
ハ　自然分野　　２単位以上
ニ　数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から12単位以上
ホ　体育分野　　２単位以上

（2）　専門教育科目は、次に定めるところにより合計82単位以上を修得しなければならない。

イ　ビジネスコース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　ビジネス部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

ロ　言語文化コース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　言語文化部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

ハ　国際関係コース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　国際関係部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

（３） 上記のほか、各授業科目区分全体の中から21単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

（４） 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

２ 中国語を母語とする外国人留学生

（１） 共通教育科目は、次に定めるところにより合計33単位以上を修得しなければならない。

イ 外国語分野 英語 ３単位以上
日本語 ８単位以上
日本事情 ４単位

ロ 数理・情報分野 ２単位以上

ハ 自然分野 ２単位以上

ニ 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から12単位以上

ホ 体育分野 ２単位以上

（２） 専門教育科目は、次に定めるところにより合計54単位以上を修得しなければならない。

イ ビジネスコース

a 専門共通部門 14単位以上
b ビジネス部門 14単位以上
c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d 演習部門 12単位以上
e 中国語情報部門 ２単位以上

ロ 言語文化コース

a 専門共通部門 14単位以上
b 言語文化部門 14単位以上
c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d 演習部門 12単位以上
e 中国語情報部門 ２単位以上

ハ 国際関係コース

a 専門共通部門 14単位以上
b 国際関係部門 14単位以上
c ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d 演習部門 12単位以上
e 中国語情報部門 ２単位以上

（３） 上記のほか、各授業科目区分全体の中から37単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

（４） 教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

３ 中国語以外を母語とする外国人留学生

（１） 共通教育科目は、次に定めるところにより合計30単位以上を修得しなければならない。

イ 外国語分野 日本語 ８単位以上
日本事情 ４単位

ロ　数理・情報分野　　２単位以上
ハ　自然分野　　２単位以上
ニ　数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から12単位以上
ホ　体育分野　　２単位以上

（２）　専門教育科目は、次に定めるところにより合計82単位以上を修得しなければならない。

イ　ビジネスコース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　ビジネス部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

ロ　言語文化コース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　言語文化部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

ハ　国際関係コース
a　専門共通部門　　14単位以上
b　国際関係部門　　14単位以上
c　ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読部門の中から12単位以上
d　語学部門　　28単位以上
e　演習部門　　12単位以上
f　中国語情報部門　　２単位以上

（３）　上記のほか、各授業科目区分全体の中から12単位以上を含み、合計124単位以上を修得しなければならない。

（４）　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含まない。

備考

１　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。
なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

２　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

３　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第14条第１項別表　地域政策学部　地域政策学科

１　共通教育科目

授業科目			単位数	備考
外国語分野	英語	Communicative English Ⅰ	1	
		Communicative English Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅰ	1	
		ＴＯＥＩＣ	1	
		Practical English Ⅰ	1	
		Practical English Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅱ	1	
		Ｒｅａｄｉｎｇ　Ⅲ	1	
		Current English Ⅰ	2	
		Current English Ⅱ	2	
		Communication Skills Ⅰ	2	
		Communication Skills Ⅱ	2	
		Communication Skills Ⅲ	2	
		Communication Skills Ⅳ	2	
	中国語	入門中国語Ⅰ	1	
		入門中国語Ⅱ	1	
		基礎中国語Ⅰ	1	
		基礎中国語Ⅱ	1	
		応用中国語Ⅰ	1	
		応用中国語Ⅱ	1	
		総合中国語Ⅰ	1	
		総合中国語Ⅱ	1	
		中国語会話（初級）Ⅰ	1	
		中国語会話（初級）Ⅱ	1	
		中国語会話（中級）Ⅰ	1	
		中国語会話（中級）Ⅱ	1	
		コミュニケーション中国語ⅠＡ	2	
		コミュニケーション中国語ⅠＢ	2	
		コミュニケーション中国語ⅡＡ	2	
		コミュニケーション中国語ⅡＢ	2	

フランス語	入門フランス語Ⅰ	1	
	入門フランス語Ⅱ	1	
	基礎フランス語Ⅰ	1	
	基礎フランス語Ⅱ	1	
	応用フランス語Ⅰ	1	
	応用フランス語Ⅱ	1	
	総合フランス語Ⅰ	1	
	総合フランス語Ⅱ	1	
	フランス語会話（初級）Ⅰ	1	
	フランス語会話（初級）Ⅱ	1	
	フランス語会話（中級）Ⅰ	1	
	フランス語会話（中級）Ⅱ	1	
	コミュニケーションフランス語ⅠA	2	
	コミュニケーションフランス語ⅠB	2	
	コミュニケーションフランス語ⅡA	2	
	コミュニケーションフランス語ⅡB	2	
ドイツ語	入門ドイツ語Ⅰ	1	
	入門ドイツ語Ⅱ	1	
	基礎ドイツ語Ⅰ	1	
	基礎ドイツ語Ⅱ	1	
	応用ドイツ語Ⅰ	1	
	応用ドイツ語Ⅱ	1	
	総合ドイツ語Ⅰ	1	
	総合ドイツ語Ⅱ	1	
	ドイツ語会話（初級）Ⅰ	1	
	ドイツ語会話（初級）Ⅱ	1	
	ドイツ語会話（中級）Ⅰ	1	
	ドイツ語会話（中級）Ⅱ	1	
ロシア語	入門ロシア語Ⅰ	1	
	入門ロシア語Ⅱ	1	
	基礎ロシア語Ⅰ	1	
	基礎ロシア語Ⅱ	1	

韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
	基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1	
	基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1	
ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1	
	入門ポルトガル語Ⅱ	1	
	基礎ポルトガル語Ⅰ	1	
	基礎ポルトガル語Ⅱ	1	
日本語	日本語・表現Ⅰ	1	外国人留学生履修科目
	日本語・表現Ⅱ	1	
	日本語・論文技術（基礎）Ⅰ	1	
	日本語・論文技術（基礎）Ⅱ	1	
	日本語・総合Ⅰ	1	
	日本語・総合Ⅱ	1	
	日本語・論文技術（応用）Ⅰ	1	
	日本語・論文技術（応用）Ⅱ	1	
	アカデミック日本語Ⅰ	2	
	アカデミック日本語Ⅱ	2	
	ビジネス日本語Ⅰ	2	
	ビジネス日本語Ⅱ	2	
外国理解	世界の言語Ⅰ	2	
	世界の言語Ⅱ	2	
	ラテン語Ⅰ	2	
	ラテン語Ⅱ	2	
	ギリシャ語Ⅰ	2	
	ギリシャ語Ⅱ	2	
	海外セミナーⅠ	2	海外短期語学セミナー学修成果認定科目
	海外セミナーⅡ	2	
	海外セミナーⅢ	2	
	海外セミナーⅣ	2	
	外国理解Ⅰ	2	留学学修成果認定科目
	外国理解Ⅱ	2	
	外国理解Ⅲ	2	

	外国理解Ⅳ	2	〃
数理・情報分野	教養数学	2	
	数理科学	2	
	確率入門	2	
	統計入門	2	
	情報倫理	2	
	マルチメディア表現	2	
	ネットワーク演習	2	
	社会データ分析入門	2	
	プログラミング	2	
	情報の科学	2	
	情報と社会	2	
	情報総合演習	2	
自然分野	物質の科学	2	
	地球の科学	2	
	宇宙の科学	2	
	生命の科学	2	
	環境の科学	2	
	科学技術史	2	
	現代技術と社会	2	
	地球環境問題	2	
	自然環境と地理	2	
	動物行動学	2	
	健康科学	2	
	スポーツ工学	2	
	トレーニング科学	2	
社会分野	歴史学	2	
	考古学	2	
	地理学	2	
	社会学	2	
	政治学	2	
	経済学	2	
	法学	2	

	経営学	2	
	憲法学	2	
	レクリエーション論	2	
	ジェンダー論	2	
人文分野	哲学	2	
	論理学	2	
	宗教学	2	
	心理学	2	
	文化人類学	2	
	現代の思想	2	
	民俗学	2	
	スポーツ文化論	2	
	日本事情Ⅰ	2	外国人留学生履修科目
	日本事情Ⅱ	2	
	文学	2	
	日本語学	2	
	古典の世界	2	
	言語と文化	2	
	芸術論	2	
総合	総合科目	2	
	総合演習	2	
	キャリアデザイン基礎	2	
	キャリアデザイン応用	2	
	キャリアデザイン特殊講義	2	
体育分野	スポーツ・健康演習	2	
	スポーツ実技Ⅰ	1	
	スポーツ実技Ⅱ	1	

2　専門教育科目

授業科目			単位数	備考
演習科目群		作文法	2	
		学習法	2	
		研究法	2	
		ゼミナールⅠ	2	
		ゼミナールⅡ	2	
		ゼミナールⅢ	2	
		ゼミナールⅣ	2	
		ゼミナールⅤ	2	
		卒業研究	4	
基幹科目群	政策分野科目	地域政策入門	2	
		現代日本の政治	2	
		行政学	2	
		行政の諸領域と法	2	
		地域行政論	2	
		国土計画論	2	
		地域の自治と政治	2	
		公共政策論	2	
		公共セクター論	2	
		政策評価論	2	
		現代経済事情	2	
		理論経済学	2	
		経済原論	2	
		財政学	2	
		金融論	2	
		地方財政論	2	
	地域関連科目	自然環境論	2	
		地理・地誌学入門	2	
		少子高齢社会論	2	
		地域コミュニティ論	2	
		地域学概論	2	
		東海地域の今日的課題	2	
		地域政策学特殊講義	2	
		地域ブランディング論	2	

		インターンシップ	4	
		ＧＩＳ概論	2	
		ＧＩＳ演習Ⅰ	2	
		ＧＩＳ演習Ⅱ	2	
		地域政策とＧＩＳ活用	2	
展開科目群	公共政策系科目	公共政策入門	2	
		地方自治体論	2	
		政策過程論	2	
		経済政策論	2	
		社会福祉政策論	2	
		公務員論	2	
		経営法務論	2	
		国際通商政策論	2	
		交通運輸政策論	2	
		保健医療政策論	2	
		災害と防災	2	
		ＮＰＯ論	2	
		労働政策論	2	
		知的財産論	2	
		統治システム論	2	
	地域産業系科目	地域産業入門	2	
		国際経済事情	2	
		中小企業論	2	
		国際ビジネス論	2	
		日本経済史	2	
		マーケティング論	2	
		地域統計論	2	
		ソーシャル・ビジネス論	2	
		地域金融論	2	
		企業発展論	2	
		東アジア経済事情	2	
		農業経済論	2	
		協同組合論	2	
		地域産業史	2	
		近代産業技術史	2	

まちづくり系科目	まちづくり入門	2	
	まちづくりとデータ分析	2	
	生涯学習論	2	
	ワークショップ演習	2	
	生活インフラ論	2	
	流域管理論	2	
	都市計画学	2	
	ツーリズム政策論	2	
	ツーリズム文化論	2	
	観光まちづくり論	2	
	グリーン・ツーリズム論	2	
	スポーツ・ツーリズム論	2	
	農山村振興論	2	
	地域資源論	2	
	創造都市論	2	
	地域イノベーション論	2	
地域文化系科目	地域文化入門	2	
	英米の地域と文化	2	
	地域の食文化	2	
	地域史料講読	2	
	言語と地域	2	
	博物館概論	2	
	ミュージアム展示論	2	
	文化情報・メディア論	2	
	地域生活史	2	
	文化政策論	2	
	食具論	2	
	地域間交通史	2	
	多文化共生論	2	
	世界遺産研究	2	
健康・スポーツ系	健康・スポーツ入門	2	
	スポーツ政策論	2	
	健康行動論	2	
	健康・スポーツ社会学	2	
	スポーツ生理学	2	

	科目	セーフティ・マネジメント	2	
		スポーツ・バイオメカニクス	2	
		スポーツ指導論	2	
		スポーツ心理学	2	
		アダプテッド・スポーツ論	2	
		アダプテッド・スポーツ演習	2	
		スポーツ経営学	2	
		スポーツ・マネジメント論	2	
		スポーツクラブ運営論	2	
		スポーツ方法Ⅰ	1	
		スポーツ方法Ⅱ	1	
		スポーツ方法Ⅲ	1	
		スポーツ方法Ⅳ	1	
	食農環境系科目	食農環境入門	2	
		地域農業政策論	2	
		食品加工論	2	
		食品安全政策論	2	
		6次産業化論	2	
		フードシステム論	2	
		環境政策論	2	
		水産資源論	2	
		食農環境演習Ⅰ	4	
		食農環境演習Ⅱ	4	
		森林政策論	2	
		食農環境最新事情	2	
隣接・関連科目群		地域分析	2	
		地図学	2	
		歴史地理学	2	
		日本民俗学	2	
教職課程科目		日本史	2	※
		外国史	2	※
		地理学通論	1	※
		地誌学	1	※

卒業要件

1　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計38単位以上を修得しなければならない。

（1）　外国語分野　必修外国語として第１外国語８単位、第２外国語４単位、計２ヵ国語12単位

（2）　数理・情報、自然、社会、人文分野各４単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から24単位

（3）　体育分野　２単位

2　専門教育科目は、次の定めるところにより、合計66単位以上を修得しなければならない。

（1）　演習科目群　　20単位

（2）　基幹科目群　　政策分野科目18単位、地域関連科目６単位、計24単位

（3）　展開科目群

イ　公共政策コース　　公共政策系科目から16単位

ロ　地域産業コース　　地域産業系科目から16単位

ハ　まちづくりコース　　まちづくり系科目から16単位

ニ　地域文化コース　　地域文化系科目から16単位

ホ　健康・スポーツコース　健康・スポーツ系科目から16単位

ヘ　食農環境コース　　食農環境系科目から16単位

（4）　上記のほかに、隣接・関連科目群を除く専門教育科目全体の中から６単位

3　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から20単位以上を修得しなければならない。

4　その他授業科目の履修については、別に定める。

5　教職課程として指定する授業科目(※印)は、卒業要件に含めない。

備考

1　教職課程を履修する者は、教科及び教職に関する科目を本表及び学則第18条第３項別表の授業科目の中から、それぞれ教育職員免許法に定める所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

なお、教育職員免許状授与の所要資格として、教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目の単位を本学開設授業科目の中から修得しなければならない。

2　司書及び司書教諭の資格を得ようとする者は、学則第19条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

3　学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者は、学則第20条別表に掲げるところにより、それぞれ所定の授業科目及び単位を修得しなければならない。

第18条第２項別表　教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類

正規の課程を置く学部・学科等		免許状の種類	
学部	学科等（正規の課程）	中学校教諭１種免許状の教科	高等学校教諭１種免許状の教科
文学部	人文社会学科	社会	地理歴史
			公民
		国語	国語
		外国語（英語）	外国語（英語）
経済学部	経済学科	社会	地理歴史
			公民
			商業
国際コミュニケーション学部	英語学科	外国語（英語）	外国語（英語）
	国際教養学科	社会	地理歴史
			公民
法学部	法学科	社会	地理歴史
			公民

経営学部	経営学科	社会	地理歴史
			公民
			商業
			情報
	会計ファイナンス学科		商業
現代中国学部	現代中国学科	社会	地理歴史
			公民
		外国語（中国語）	外国語（中国語）
地域政策学部	地域政策学科	社会	地理歴史
			公民

第18条第３項別表　教科及び教職に関する科目の授業科目表

授業科目	単位数	備考
国語科教育法	2	
国語科指導法Ⅰ	2	
国語科指導法Ⅱ	2	
国語科指導法Ⅲ	2	
英語科教育法	2	
英語科指導法Ⅰ	2	
英語科指導法Ⅱ	2	
英語科指導法Ⅲ	2	
社会科・地歴科教育法	2	
社会科・公民科教育法	2	
社会科教育法	2	
社会科・地歴科指導法	2	
社会科・公民科指導法	2	
中国語科教育法	2	
中国語科指導法Ⅰ	2	
中国語科指導法Ⅱ	2	
中国語科指導法Ⅲ	2	
商業科教育法Ⅰ	2	
商業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
教育原論	2	
学校と教育の歴史	2	
教職入門	2	
教育制度論	2	
教育社会学	2	
教育心理学	2	
特別支援教育概論	1	
教育課程論	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の理論と方法	2	

特別活動の理論と方法	2	
教育方法論	2	
生徒・進路指導の理論と方法	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習Ⅰ	2	
教育実習Ⅱ	3	
教育実習Ⅲ	5	
教職実践演習（中・高）	2	
子ども指導実践	2	
教育問題研究Ⅰ	2	
教育問題研究Ⅱ	2	
教育問題研究Ⅲ	2	
教育問題研究Ⅳ	2	
教育問題研究Ⅴ	2	
教育問題研究Ⅵ	2	
小中学校連携教育論Ⅰ	2	
小中学校連携教育論Ⅱ	2	
小中学校連携教育論Ⅲ	2	
小中学校連携教育論Ⅳ	2	

備考

上記の他、教科に関する専門的事項の授業科目及びその単位数は第14条別表の定めるところによる。

第19条第１項別表　司書及び司書教諭に関する授業科目表

１　司書に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

授業科目		単位数	備考
必修科目	生涯学習概論Ⅰ	2	いずれか１科目
	生涯学習概論Ⅱ	2	
	図書館概論	2	
	情報政策	2	
	図書館情報サービスⅠ	2	
	図書館情報サービスⅡ	2	
	情報サービス演習Ⅰ	1	
	情報サービス演習Ⅱ	1	
	図書館情報技術	2	
	図書館情報資源論	2	
	情報資源組織Ⅰ	2	
	情報資源組織Ⅱ	2	
	情報資源組織演習Ⅰ	1	
	情報資源組織演習Ⅱ	1	
	児童サービス論	2	
	情報資源各論Ⅰ	2	いずれか１科目
	情報資源各論Ⅱ	2	
選択科目	図書館情報・メディア史	2	
	専門情報特講Ⅰ	2	いずれか１科目
	専門情報特講Ⅱ	2	
	専門情報特講Ⅲ	2	
	専門情報特講Ⅳ	2	

備考

１　司書の資格を得ようとする者は、必修科目は26単位、選択科目は２科目４単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。

2　司書教諭に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

授業科目	単位数	備考
学校経営と学校図書館	2	
学校図書館メディアの構成	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	
情報メディアの活用	2	

備考

1　司書教諭の資格を得ようとする者は、10単位を修得しなければならない。

第20条第１項別表　学芸員及び社会教育主事に関する授業科目表

１　学芸員に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

授業科目		単位数	備考
必修科目	生涯学習概論Ⅰ	2	いずれか必修
	生涯学習概論Ⅱ	2	
	博物館概論	2	
	博物館学各論Ⅰ	2	
	博物館学各論Ⅱ	2	
	文化情報・メディア論	2	
	博物館資料保存論	2	
	ミュージアム展示論	2	
	博物館実習Ⅰ	2	
	博物館実習Ⅱ	2	
	博物館教育論	2	
選択科目	（文化史関係）		
	日本文化史Ⅰ	2	
	日本文化史Ⅱ	2	
	ヨーロッパ文化論	2	
	英米の地域と文化	2	
	世界遺産研究	2	
	歴史学	2	
	（美術史関係）		
	芸術史	2	
	書画論Ⅰ	2	
	書画論Ⅱ	2	
	民具・民芸論	2	
	民族芸術論	2	
	芸術論	2	
	（考古学関係）		
	日本考古学Ⅰ	2	
	日本考古学Ⅱ	2	
	外国考古学Ⅰ	2	

	外国考古学Ⅱ	2	
	考古学	2	
	（民俗学関係）		
	日本民俗学	2	
	アメリカ民俗論	2	
	現代フォークロア論	2	
	地域の食文化	2	
	民俗学	2	
	文化人類学	2	
	（地学関係）		
	地球環境科学	2	

備考

1　学芸員の所要資格を得ようとする者は、必修科目は10科目20単位以上、選択科目は３関係以上にわたり12単位以上、計32単位以上を修得しなければならない。

2　社会教育主事に関する専門教育科目（文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部及び地域政策学部）

授業科目		単位数	備考
必修科目	生涯学習概論Ⅰ	2	
	生涯学習概論Ⅱ	2	
	生涯学習支援論Ⅰ	2	
	生涯学習支援論Ⅱ	2	
	社会教育経営論Ⅰ	2	
	社会教育経営論Ⅱ	2	
	社会教育実習	2	
	社会教育演習Ⅰ	2	いずれか１科目２単位
	社会教育演習Ⅱ	2	
選択科目	福祉社会学	2	
	ジェンダー・セクシュアリティ論	2	
	共生社会論	2	
	教育社会学	2	
	カルチュラル・スタディーズ（文化研究）	2	
	環境社会学	2	
	市民参加論	2	
	メディア社会論	2	
	ライフコースの社会学	2	
	情報社会学	2	
	キャリア発達論	2	
	博物館概論	2	
	文化情報・メディア論	2	

備考

1　社会教育主事の所要資格を得ようとする者は、必修科目は８科目16単位以上、選択科目は４科目８単位以上、計24単位以上を修得しなければならない。

第24条別表　卒業必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">学部 ＼ 科目</th><th>共通教育科目</th><th>専門教育科目</th><th>自由選択</th><th>計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学部</td><td colspan="2">人文社会学科</td><td rowspan="2">44</td><td rowspan="2">62</td><td rowspan="2">18</td><td rowspan="2">124</td></tr>
<tr><td colspan="2">心理学科</td></tr>
<tr><td colspan="3">経済学部</td><td>36</td><td>74</td><td>14</td><td>124</td></tr>
<tr><td rowspan="4">国際コミュニケーション学部</td><td rowspan="2">英語学科</td><td>日本人学生</td><td>34</td><td rowspan="2">60</td><td>30</td><td rowspan="4">124</td></tr>
<tr><td>外国人留学生</td><td>38</td><td>26</td></tr>
<tr><td rowspan="2">国際教養学科</td><td>日本人学生</td><td>34</td><td rowspan="2">68</td><td>22</td></tr>
<tr><td>外国人留学生</td><td>38</td><td>18</td></tr>
<tr><td rowspan="3">法学部</td><td colspan="2">日本人学生</td><td>32</td><td>70</td><td>22</td><td rowspan="3">124</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会人入試入学者</td><td>28</td><td>70</td><td>26</td></tr>
<tr><td colspan="2">外国人留学生</td><td>32</td><td>70</td><td>22</td></tr>
<tr><td colspan="3">経営学部</td><td>32</td><td>64</td><td>28</td><td>124</td></tr>
<tr><td rowspan="3">現代中国学部</td><td colspan="2">日本人学生</td><td>21</td><td>82</td><td>21</td><td rowspan="3">124</td></tr>
<tr><td colspan="2">中国語を母語とする外国人留学生</td><td>33</td><td>54</td><td>37</td></tr>
<tr><td colspan="2">中国語以外を母語とする外国人留学生</td><td>30</td><td>82</td><td>12</td></tr>
<tr><td colspan="3">地域政策学部</td><td>38</td><td>66</td><td>20</td><td>124</td></tr>
</table>

備考

自由選択:各学部の各授業科目区分全体の中から、それぞれ修得しなければならない。

第26条第２項別表　学位の名称

学部	学科	専攻分野の名称
文学部	人文社会学科	学士（文　学） 又は 学士（社会学）
	心理学科	学士（心理学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
国際コミュニケーション学部	英語学科	学士（外国語）
	国際教養学科	学士（国際教養学）
法学部	法学科	学士（法　学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
	会計ファイナンス学科	学士（経営学）
現代中国学部	現代中国学科	学士（現代中国学）
地域政策学部	地域政策学科	学士（地域政策学）

第 48 条第３項別表　協定留学生に関する授業科目表

授業科目	単位数	備考
日本語Ⅰ	1	
日本語Ⅱ	1	
日本語Ⅲ	1	
日本語Ⅳ	1	
日本語Ⅴ	1	
日本語Ⅵ	1	
日本語Ⅶ	1	
日本語Ⅷ	1	